

(様式第 10)

伊総第 20-188 号
令和 2 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 田村 憲久 殿

学校法人 東海大
理事長 松前

東海大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第 1 項及び医療法施行規則（昭和 23 年厚生省令第 50 号）第 9 条の 2 の 2 の第 1 項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4
氏 名	学校法人 東海大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東海大学医学部付属病院

3 所在の場所

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋143	電話(0463)93-1121 (代)
-----------------------------	-----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、 がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、 十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
①呼吸器内科		4腎臓内科
②消化器内科		8代謝内科
③循環器内科		7内分泌内科
④神経内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科
⑤血液内科		⑩リウマチ科
⑥感染症内科		
⑦アレルギー疾患内科またはアレルギー科		
⑧リウマチ科		
診療実績		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科 ②消化器外科 3乳腺外科 4心臓外科 5血管外科 ⑥心臓血管外科 7内分泌外科 ⑧小児外科		
診療実績		

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 7産婦人科 ⑧産科 ⑨婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 12放射線科 ⑬放射線診断科 ⑭放射線治療科 ⑮麻酔科 16救急科

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科 2矯正歯科 3口腔外科		
歯科の診療体制		

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 血液腫瘍内科 2 腎内分泌代謝内科 3 緩和ケア内科 4 乳腺内分泌外科 5 移植外科 6 形成外科 7 リハビリテーション科 8 救命救急科 9 歯科口腔外科 10 臨床検査科 11 病理診断科
--

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
床	床	床	床	804床	804床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	523人	136人	547.9人	看護補助者	134人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	16人	8人	17.1人	理学療法士	25人	臨床検査技師	141人
薬剤師	65人	3人	67人	作業療法士	10人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	20人	0人	20人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	982人	82人	1,043.5人	臨床工学士	29人	医療社会事業従事者	14人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	0人	その他の技術員	13人
歯科衛生士	8人	0人	8人	歯科技工士	1人	事務職員	183人
管理栄養士	14人	1人	14.8人	診療放射線技師	72人	その他の職員	0人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	67人	眼科専門医	11人
外科専門医	44人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	8人	放射線科専門医	14人
小児科専門医	19人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	5人	整形外科専門医	15人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	13人
産婦人科専門医	20人	救急科専門医	12人
		合 計	266人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (渡辺 雅彦) 任命年月日 平成 31年 4月 1日

平成 28 年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
 平成 29 年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
 平成 29 年度高難度新規医療技術評価委員会委員長、未承認新規医薬品等評価委員会委員長
 平成 29 年度東海大学医学部附属病院医療安全に係る事象の病院長報告構成員
 平成 30 年度 IC 記載状況確認分科会座長・IC 管理責任者
 平成 30 年度高難度新規医療技術評価委員会委員長、未承認新規医薬品等評価委員会委員長
 平成 30 年度東海大学医学部附属病院医療安全に係る事象の病院長報告構成員
 平成 31 年(令和元年)度医療安全管理委員会オブザーバー
 令和 2 年度医療安全管理委員会オブザーバー

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	759.9 人	15.5 人	775.4 人
1日当たり平均外来患者数	2,346.4 人	121.3 人	2,467.7 人
1日当たり平均調剤数	1,265.6 剤		
必要医師数	212 人		
必要歯科医師数	2 人		
必要薬剤師数	26 人		
必要(准)看護師数	471 人		

- (注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	710.74 m ²	鉄筋コンクリート造 (免震)	病床数	32床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 159.36 m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	13床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 82.8 m ² [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	375.52m ²	鉄筋コンクリート造 (免震)	(主な設備) ラボスペクト008α、XE-5000			
細菌検査室	107.73m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) マイクロスキャンW/A、バクテックMIGT			
病理検査室	284.68m ²	鉄筋コンクリート造 (免震)	(主な設備) プッシュプル換気装置付流し台・切出台、自動染色装置、自動包埋装置等			
病理解剖室	84.68m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備) 解剖台、ホルマリン対応型切出台、プッシュプル換気装置付流し台			
研究室	11035.60m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	(主な設備)			
講義室	1,256.16m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数 8室	収容定員 810人		
図書室	2,099.45m ²	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数 1室	蔵書数 169,700冊程度		

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

	紹介率	85.0 %	逆紹介率	61.7 %
算 出 根 拠	A：紹介患者の数	24,248 人		
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	21,834 人		
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	5,840 人		
	D：初診の患者の数	35,389 人		

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 病院長 東京医科大学 医療の質・安全管理 学分野主任教授	○	特定機能病院の管理者として広い識見その他の学識経験を有し、特定機能病院医療安全管理責任者を経験し医療安全管理に長けている者。さらに、医療安全や質の向上を目的に医療安全文化の構築を推進する者	有・無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者
大塚 達生	弁護士 (神奈川県弁護士会)		患者さん側の立場に立った弁護をされている者	有・無	法律に関する識見を有する者
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		患者と医療者の協働の実現により医療現場により良いコミュニケーションを築く活動をされている者	有・無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
黒石 正幸	伊勢原市保健福祉 部長		行政としての立場及び一般の立場の代表者	有・無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
安田 聖栄	医療法人社団あんしん会四谷メディカルキューブ理事長(医師) (元東海大学医学部教授、前東海大学医学部付属病院副院長)		東海大学医学部付属病院の医療安全統括者を経験し、医療安全管理に長けている者	有・無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者
千野 修	東海大学医学部付 属東京病院 副院長・医療安全対 策室長		東海大学医学部付属東京病院の医療安全統括者であり、医療安全管理に長けている者。また付属病院群の医療安全に係る責任者の代表者	有・無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 当院ホームページに委員名簿、委員の選定理由を掲載 議事録は監査委員会終了後に掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与(一週間に一回投与するものに限る。)及びカルボプラチン腹腔内投与(三週間に一回投与するものに限る。)の併用療法(上皮性卵巣がん、卵管がん、又は原発性腹膜がん)	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検	2人
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法	0人
自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるものに限る。)	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	0	56	ベーチェット病	11
2	筋萎縮性側索硬化症	33	57	特発性拡張型心筋症	8
3	脊髄性筋萎縮症	33	58	肥大型心筋症	13
4	原発性側索硬化症	33	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	3	60	再生不良性貧血	30
6	パーキンソン病	98	61	自己免疫性溶血性貧血	37
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	18
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	4
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	75
11	重症筋無力症	48	66	IgA 腎症	12
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	5
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	89	68	黄色靭帯骨化症	23
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	6	69	後縦靭帯骨化症	23
15	封入体筋炎	42	70	広範脊柱管狭窄症	0
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	2
17	多系統萎縮症	22	72	下垂体性ADH分泌異常症	15
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	18	73	下垂体性TSH分泌亢進症	4
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	17
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	33
21	ミトコンドリア病	10	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	11
22	もやもや病	35	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	14
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	83
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	206
25	進行性多巣性白質脳症	3	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	24	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	5	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	2	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	4	84	サルコイドーシス	43
30	遠位型ミオパチー	4	85	特発性間質性肺炎	93
31	ベスレムミオパチー	4	86	肺動脈性肺高血圧症	29
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	29
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	7	88	慢性血栓性肺高血圧症	4
34	神経線維腫症	2	89	リンパ管筋腫症	2
35	天疱瘡	13	90	網膜色素変性症	2
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿疱性乾癬(汎発型)	0	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	67
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	12
40	高安動脈炎	5	95	自己免疫性肝炎	52
41	巨細胞性動脈炎	5	96	クローン病	33
42	結節性多発動脈炎	2	97	潰瘍性大腸炎	46
43	顕微鏡的多発血管炎	2	98	好酸球性消化管疾患	7
44	多発血管炎性肉芽腫症	110	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	12	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	8	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	5
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	467	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	138	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	52	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	51	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	138	108	TNP受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱瘡を含む。）	6
113	筋ジストロフィー	10	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	7	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	4	165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	1
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	22
119	アイザックス症候群	7	169	メンケス病	5
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	5	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	5	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	3	175	ウィーバー症候群	7
126	ペリー症候群	9	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	33	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゼン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	6
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリズ症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	1	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	18	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	1	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	1	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	31	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	1
157	スタージ・ウェーバー症候群	6	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	13	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	2
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	213	264	無βリボタンパク血症	5
217	エプスタイン病	8	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	39	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	0	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	0
224	紫斑病性腎炎	10	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	5
227	オスラー病	38	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	6
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	6
230	肺胞低換気症候群	2	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	6
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	49
233	ウォルフラム症候群	21	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	22	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	26	283	後天性赤芽球癆	4
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	16
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	62
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	42
246	メチルマロン酸血症	2	294	先天性横隔膜ヘルニア	2
247	イソ吉草酸血症	75	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスporter1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	7
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	3
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	7
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	36
254	ポルフィリン症	206	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数		疾 患 名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素 (SR) 欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI) 欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群 (爪膝蓋骨症候群) / LMX 1 B 関連腎症	0	327	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般7対1)	・特定集中治療室管理料4(小児加算)
・超急性期脳卒中加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母胎・胎児、新生児)
・診療録管理体制加算1	・新生児治療回復室入院医療管理料
・医師事務作業補助体制加算[(イ)15対1]	・小児入院医療管理料2・4
・急性期看護補助体制加算(25対1)	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・看護職員夜間配置加算(12対1)	・歯科外来診療環境体制加算2
・療養環境加算	・歯科診療特別対応連携加算
・無菌治療室管理加算1・2	・地域歯科診療支援病院入院加算
・緩和ケア診療加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・抗菌薬適正使用加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・後発医薬品使用体制加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算1・2	・
・データ提出加算2	・
・入退院支援加算1	・
・認知症ケア加算1	・
・救命救急入院料3・4	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・糖尿病合併症管理料	・胎児心エコー法
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料イ・ロ	・皮下連続式グルコース測定
・外来緩和ケア管理料	・脳波検査判断料1
・移植後患者指導管理料(臓器・造血幹細胞)	・神経学的検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・補聴器適合検査
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・小児食物アレルギー負荷検査
・院内トリアージ実施料	・内服・点滴誘発試験
・外来放射線照射診療料	・センチネルリンパ節生検
・療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談体制充実加算	・画像診断管理加算1・2
・がん治療連携計画策定料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療管理料	・ポジトロン断層撮影
・排尿自立指導料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・CT撮影及びMRI撮影
・薬剤管理指導料	・冠動脈CT撮影加算
・医療機器安全管理料1・2	・外傷全身CT加算
・医療機器安全管理料(歯科)	・心臓MRI撮影加算
・在宅血液透析指導管理料	・乳房MRI撮影加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・遺伝学的検査(遺伝学的検査の注)	・無菌製剤処理料
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・検体検査管理加算 I・IV	・運動器リハビリテーション料(I)
・遺伝カウンセリング加算	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・がん患者リハビリテーション料
・時間内歩行試験	・リンパ浮腫複合的治療料

施設基準の種類	施設基準の種類
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・エタノールの局所注入 (甲状腺に対するもの・副甲状腺に対するもの)	・経皮的僧帽弁クリップ術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・経皮的中隔心筋焼灼術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・センチネルリンパ節加算	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・皮膚移植術(死体)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び 経静脈電極除去術
・組織拡張器による再建手術(一連につき) (乳房(再建手術)の場合に限る)[一次再建・二次再建]	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び 両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・補助人工心臓
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び 脳刺激装置交換術	・胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び 肝切除(葉以上)を伴うものに限る)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))	・体外衝撃波胆石破碎術
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・腹腔鏡下肝切除術
・網膜再建術	・体外衝撃波砕石破碎術
・人工中耳植込術	・腹腔鏡下腭腫瘍摘出術
・人工内耳植込術	・腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術
・埋込型骨導補聴器移植術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・埋込型骨導補聴器交換術	・小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・上顎洞形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移 動を伴う場合に限る。)[歯科診療以外の診療に係るものに限る]	・体外衝撃波腎・尿管破碎術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき) (MRIによるもの)	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を 伴わないもの)(腋窩郭清を伴うもの))	・腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・乳腺悪性腫瘍手術(注1・注2)	・同種死体腎移植術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後) [一次一期再建・一次二期的再建および二次再建]	・生体腎移植術
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜・ 心膜合併切除を伴うものに限る))	・尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・食道縫合術(穿孔・損傷)(内視鏡によるもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腎代替療法実績加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・輸血管理料 I	・CAD/CAM冠
・輸血適正使用加算	・骨髄微小残存病変量測定
・貯血式自己血輸血管理体制加算	・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
・コーディネート体制充実加算	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胸腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・麻酔管理料(I)・(II)	
・放射線治療専任加算	
・外来放射線治療加算	
・高エネルギー放射線治療	
・1回線量増加加算	
・強度変調放射線治療(IMRT)	
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	
・体外照射呼吸性移動対策加算	
・定位放射線治療	
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
・画像誘導密封小線源治療加算	
・病理診断管理加算2	
・悪性腫瘍病理組織標本加算	
・歯科治療時医療管理料	
・歯科口腔リハビリテーション料2	
・口腔病理診断管理加算1	
・クラウン・ブリッジ維持管理料	
・歯科技工加算	
・歯科矯正診断料	
・歯周組織再生誘導手術料	
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	年 6 回
剖 検 の 状 況	剖検症例数 27 例 / 剖検率 3.8 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
iPS技術とIn Silico創薬による髄核前駆細胞の分化制御と椎間板修復	酒井 大輔	整形外科	3,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヒト多発性骨髄腫モデルマウスにおけるがんニッチ間相互作用の解析	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	2,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
B系列決定必須転写因子EBF1欠損をレスキューするmicroRNAの発見	幸谷 愛	血液・腫瘍内科学	2,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳腫瘍のレーザー治療を確立するための脳光温熱生体数値シミュレーションモデルの開発	松前 光紀	脳神経外科学	2,600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
既成概念を打破する血清網縷的糖ペプチド解析による卵巣癌早期診断・予後診断法の開発	三上 幹男	産婦人科学	3,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
長期に開存可能な下肢ステント:超弾性合金の変形に追従する血液適合性炭素薄膜の開発	長谷部光泉	画像診断学	2,900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞活性化時の生理機能変化を担う「分子レバレッジ機構」の解明	後藤 信哉	循環器内科学	7,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
多検体日本人口腔癌のエクソーム解析に基づく移植マウスモデルを用いた発がん機構解析	太田 嘉英	口腔外科学	3,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨格筋由来多能性幹細胞による頭頸部癌切除後神経ネットワークの再生医療	大上 研二	耳鼻咽喉科学	200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
全血を試料とした単剤及び多剤併用時の薬毒物中毒評価に関する基礎データの構築	斉藤 剛	救命救急医学	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨発現Klothoによるミネラル代謝制御機構の解明	深川 雅史	腎・代謝内科学	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生アソシエイト細胞静注による脳梗塞治療法の開発	瀧澤 俊也	神経内科学	1,000,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗酸化防御機構の腎局所における活性化による腎障害軽減の検討	新村 文男	小児科学	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
食道癌におけるVasohibin発現の悪性度診断への応用と新規治療法の開発	小澤 壯治	消化器外科学	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
体内へ挿入可能なヒューマノイドを用いた次世代型腹腔鏡下手術の提案	向井 正哉	消化器外科学	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
悪性肺腫瘍に対する経気管支的凍結融解壊死療法の基本実験	河野 光智	呼吸器外科学	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
椎間板変性におけるWatシグナルを介す転写制御機構の解析と新規腰痛治療薬の探索	檜山 明彦	整形外科	1,100,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨格筋間質幹細胞群を接着剤として利用した筋腱骨複合体の再生治療研究	内山 善康	整形外科	200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣明細胞腺癌に発現する変異TrkBアイソフォームのシグナル解析	後藤優美子	産婦人科学	1,200,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
最先端リポドミクス解析を用いたω3系脂肪酸剤の抗炎症効果に関する研究	渡辺 稔彦	小児外科学	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
敗血症予後改善に向けたリンパ球機能維持戦略	鈴木 武志	麻酔科学	600,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
味覚受容体遺伝子発現を指標としたがん化学療法による味覚障害発生機序の解明	傳田 祐也	口腔外科学	900,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄異形成症候群の発症メカニズムに与える活性酸素(ROS)の影響	鬼塚 真仁	血液・腫瘍内科学	1,300,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
腸内細菌叢による発達障害(神経発達症)の行動特性への影響の解明	三上 克央	精神科学	700,000	補委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業

計24件

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ナノダイヤモンド新規MRI造影剤による高精度MRIリンパ造影法の開発	松本 知博	画像診断学	900,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
ウイルス感染喘息における自然型及び獲得型アレルギーの病態解明と新規制御機構の検討	加藤 政彦	小児科学	1,100,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
創薬にむけたIPF急性増悪の病態研究:ステロイド不応性シグナル伝達経路に着目して	伊藤 洋子	呼吸器内科学	1,900,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
糸球体足細胞最終分化維持機構の解明と糖尿病性腎症に対する新規治療応用の開発	和田 健彦	腎・代謝内科学	900,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
多発性骨髄腫におけるセマフォリン3Aシグナルを介した薬剤耐性機序の解明とその克服	鈴木利貴央	血液・腫瘍内科学	1,200,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚筋炎に伴発する急速進行性間質性肺炎の病態解明と新規治療法開発の試み	佐藤 慎二	リウマチ内科学	1,000,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
神経障害性疼痛における活性化アストロサイト由来Dセリンの作用	伊藤 健二	麻酔科学	800,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
モルヒネ誘発性疼痛メカニズムの解明	松田 光正	麻酔科学	800,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
敗血症感染原因菌に対する抗体カクテル療法の確立と治療への応用	渡邊 伸央	救命救急医学	1,400,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
慢性疼痛時における内因性ミューオピオイド受容体アロステリックモジュレーター的作用	姜 卓義	麻酔科学	800,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄損傷に対するグルカゴン用ペプチド-1受容体作動薬の治療効果	加藤 裕幸	整形外科学	1,200,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎がん細胞のND1発現低下が細胞内ROSと転移増殖能へ与える影響の検討	金 伯士	泌尿器科学	500,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜炎発症・内膜症性嚢胞癌化に関わる腸細菌叢のメタゲノム解析	信田 政子	産婦人科学	1,200,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
網羅的血清糖ペプチドビークと人工知能を用いた卵巣癌早期診断法の開発	池田 仁恵	産婦人科学	1,100,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
高速走査型ピコ秒レーザーシステムの開発	河野 太郎	形成外科学	600,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳酸菌による体内脂肪再分配機構の解析	加川 建弘	消化器内科学	1,200,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
プロバイオティクスによるアスピリン小腸粘膜傷害改善の病態解明	鈴木 孝良	消化器内科学	500,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
イノシトール・ポリリン酸における神経変性疾患の病態生理機構の解明	永田栄一郎	神経内科学	1,100,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性血液腫瘍の中樞神経浸潤に対する新たな低侵襲性治療法の開発	川田 浩志	血液・腫瘍内科学	1,100,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
再生アソシエイト細胞静注による認知症治療法の開発	今関 良子	神経内科学	1,300,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
新規核種95-Tcを用いた次世代医療用ガンマ線カメラの臨床仕様化へ向けた基礎開発	株木 重人	放射線治療科学	1,000,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
胎児が制御する羊膜・絨毛膜の恒常性維持機構とその破綻	石本 人士	産婦人科学	1,500,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁形成術の新規治療効果判定モデルの確立	大野 洋平	循環器内科学	1,300,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
病態ウサギにおける重粒線体の心房細胞抑制作用と電気生理学機序の解明	網野 真理	救命救急医学	2,600,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
気道内に粘液栓を形成するアレルギー性気管支肺真菌症モデル動物の開発	白石 良樹	呼吸器内科学	1,400,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
真菌関連アレルギー性気道疾患の原因真菌診断法確立	浅野浩一郎	呼吸器内科学	1,000,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
小腸移植におけるNotchシグナルの免疫応答制御とメカニズムの解明	森 昌玄	小児外科学	1,600,000	③ 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
麻酔と唾液分泌に関する研究	渡邊真理子	麻酔科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨格筋由来幹細胞を用いた脊髄損傷治療法の開発	小林 由香	整形外科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
前庭性片頭痛の客観的評価、新規治療のためのハイオメガとドライバー遺伝子の検索	五島 史行	耳鼻咽喉科学	800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
新しい糖尿病網膜症モデルの確立	鈴木 崇弘	眼科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
副甲状腺機能亢進症における腫瘍化関連microRNA同定と新規診断・治療法の開発	金井 巖太	腎・代謝内科学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
糸球体線維化の再検討	小泉 賢洋	腎・代謝内科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵管癌におけるNecl-4の関連miRNAの解明と新規診断・治療への応用	川西 彩	消化器内科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
腸内細菌叢の構成変化に対するHBV感染肝細胞由来細胞外小胞の役割の検討	柿崎 正敏	血液・腫瘍内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
男女差から検討するたこつぼ型心筋症の病態解明	村上 力	循環器内科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
過形成副甲状腺の周辺脂肪組織に検出される異所的な副甲状腺ホルモン産生細胞の解析	巽 亮子	腎・代謝内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌における免疫関連細胞の解明と効果予測因子の開発	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨格筋間質由来多能性幹細胞とスキャフォールドを用いたハイブリッド肺組織移植	大岩 加奈	呼吸器外科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭頸部癌における選択的スプライシングを介した発癌機構の解明	酒井 昭博	耳鼻咽喉科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
水素投与によるマウス未熟児網膜症の改善効果および血管内皮前駆細胞の動態の検討	中川 喜博	眼科学	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
造血幹細胞移植時に生じる口腔粘膜障害と口腔細菌叢の関係についての検討	高橋 美穂	口腔外科学	500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
Liquid biopsyは口腔扁平上皮癌で有効か？ [NOTCH1に注目して]	内堀 雅博	口腔外科学	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
体内リズム調節ホルモン解析によるオーラルフレイル予防法の開発	小嶋 玲奈	口腔外科学	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
発達早期の腸内細菌叢による認知特性への影響の解明	渡邊 己弦	精神科学	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗真菌薬溶出血管塞栓症の発症メカニズムの解明：肺炎アスペルギルス症に伴う喀血の新規治療戦略	山本 章太	画像診断学	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
カテーテル難着性液体塞栓物質の新規開発：自己組織化ペプチド/アルギン酸ゲル	亀井 俊佑	画像診断学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
リンパ節転移に対するリンパ系インターベンション：直接リンパ管内化学療法の新規開発	富田 康介	画像診断学	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症性腸疾患における口腔内細菌叢由来の炎症誘導性細菌と細菌応答免疫細胞の同定	今井 仁	消化器内科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
傍糸球体装置で基質接着因子インテグリンのリン酸化が血圧調節に関与する機序の解析	近藤 真澄	腎・代謝内科学	1,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
閉経後骨粗鬆症が腎性骨症に及ぼす影響	田中 寿絵	腎・代謝内科学	2,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
腎臓病におけるRNA結合タンパク質による炎症性mRNA制御機構の解析	都川 貴代	腎・代謝内科学	1,700,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
移植後特発性肺炎症候群の解明：アンジオテンシノゲンは予因子、予防法になるか	原 隆二郎	血液・腫瘍内科学	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性尿路上皮癌に対するフェロトシス誘導による新規治療戦略	長谷川政徳	泌尿器科学	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ミトコンドリア蛋白MGARPが関わるステロイドホルモン産生細胞の恒常性維持機構	西島 義博	産婦人科学	1,100,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
母体免疫異常に起因する流産とPZPの関連性の解明	柏木 寛史	産婦人科学	1,600,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
口腔扁平上皮癌網羅的遺伝子解析に基づく免疫チェックポイント阻害薬感受性の評価	大澤 侑子	口腔外科学	1,000,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
高いX線視認性を有する肝臓がん治療用の新規薬剤徐放性マイクロビーズの創製	長谷部光泉	画像診断学	1,300,000	補 委 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費助成事業
同種細胞シートを用いた変形性膝関節症に対する再生医療の実現	佐藤 正人	整形外科学	33,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
関節軟骨再生治療の普及を加速するiPS細胞由来軟骨細胞シートの研究開発	佐藤 正人	整形外科学	32,000,000	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
真菌関連アレルギー性気道疾患の発症・増悪予防を目指した体内・対外環境の評価と制御	浅野浩一郎	呼吸器内科学	6,510,400	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
膝窩動脈以下(below-the-knee: BTK)の細径動脈硬化性病変に対する長期開存ステントシステムの開発	長谷部光泉	画像診断学	57,084,565	補 委 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

計8件

計86件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Update on immunogenicity in severe asthma: Experience with mepolizumab	Journal of allergy and clinical immunology in practice,201909,7(7),337-339	Original Article
2	Kengo Moriyama	医学部医学科総合診療学系健康管理学	Changes in alcohol consumption did not affect changes in serum uric acid level in Japanese.	Health Evaluation and Promotion,20190746,420-430	Original Article
3	Masao Toyoda	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Caution is required for the evaluation of the accuracy of continuous glucose monitoring devices.	J Diabetes Investig,20200111(1),255	Original Article
4	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled Study to Evaluate the Efficacy of Teprenone in Patients with Alzheimer's Disease.	J Alzheimers Dis. 71(4)., 2019,20190471,1187-1199	Original Article
5	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Disrupted tubular PTH/PTH receptor signaling and damaged tubular cell viability possibly trigger postsurgical kidney injury in patients with advanced hyperparathyroidism.	Chronic Kidney J,20191012(5),686-692	Original Article
6	Sho Torii	医学部医学科内科学系循環器内科学	Pathology and Multimodality Imaging of Acute and Chronic Femoral Stenting in Humans.	202002(オンライン)	Original Article
7	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Podocyte injury augments intrarenal angiotensin II generation and sodium retention in a megalin-dependent manner.	Hypertension,20190774(3),509-517	Original Article
8	Sho Torii	医学部医学科内科学系循環器内科学	Vascular responses to coronary calcification following implantation of newer-generation drug-eluting stents in humans: impact on healing.	Eur Heart J.,202002,	Original Article
9	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	10-Year Trends in Helicobacter pylori Eradication Rates by Sitafoxacin-Based Third-Line Rescue Therapy.	Digestion,201908,doi: 10.1159/000501610	Original Article
10	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	A combination of serum anti-Helicobacter pylori antibody titer and Kyoto classification score could provide a more accurate diagnosis of H pylori.	United European Gastroenterol Journal,2019067,343-348	Original Article
11	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Cancer stem-cell marker CD44v9-positive cells arise from Helicobacter pylori-infected CAPZA1-overexpressing cells.	Cell. Mol Gastroenterol Hepatol.,2019068,319-334	Original Article
12	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	The influence of dialysate Ca concentrations on the therapeutic effects of etelcalcetide with concomitant drugs in patients with secondary hyperparathyroidism.	Nephrol,201911N/A,N/A	Original Article
13	Wada Takehiko	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Skeletal and Mineral Metabolic Effects of Risedronate in a Rat Model of High-Turnover Renal Osteodystrophy	Journal of Bone and Mineral Metabolism,20200338,501-510	Original Article
14	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Effects of HLA mismatch on cytomegalovirus reactivation in cord blood transplantation.	Bone Marrow Transplantation,20190754,7,1004-1012	Original Article
15	Tatehiro Kagawa	医学部医学科内科学系消化器内科学	Intention-to-treat assessment of glecaprevir + pibrentasvir combination therapy for patients with chronic hepatitis C in the real world.	HEPATOLOGY RESEARCH,20191249(12),1365-1373	Original Article
16	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Population-level associations of achievement of targets for bone-mineral markers with survival in haemodialysis in patients with mildly elevated intact PTH levels: a case-cohort study.	Sci Rep,2019085(9),11301	Original Article
17	Shinji Sato	医学部医学科内科学系リウマチ内科学	Comparison of cytokine profiles between anti-ARS antibody-positive interstitial lung diseases and those with anti-MDA-5 antibodies	Clinical Rheumatology,2020022020 Feb 13,doi: 10.1007/s10067-020-04984-x	Original Article
18	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	A phase 3b, randomized, double-blind, placebo-controlled study of sodium zirconium cyclosilicate for reducing the incidence of predialysis hyperkalemia.	J Am Soc Nephrol,20190630(9),1723-1733	Original Article

計18件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
19	Shunya Takizawa	医学部医学科内科学系神経内科学	Early Initiation of Direct Oral Anticoagulants After Onset of Stroke and Short- and Long-Term Outcomes of Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation.	Stroke,20200351(3),883-891	Original Article
20	Shunya Takizawa	医学部医学科内科学系神経内科学	Benefits and Risks of CT Angiography Immediately after Emergency Arrival for Patients with Intracerebral Hematoma.	Neurol Med Chir (Tokyo),20200160(1),45-52	Original Article
21	Shunya Takizawa	医学部医学科内科学系神経内科学	Thrombolysis With Alteplase at 0.6 Mg/Kg for Stroke With Unknown Time of Onset: A Randomized Controlled Trial.	Stroke,20200351(5),1530-1538	Original Article
22	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Considerable international variation exists in blood pressure control and antihypertensive prescription patterns in chronic kidney disease.	Kidney Int,2019094,983-994	Original Article
23	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Current status of first- and second-line Helicobacter pylori eradication therapy in the metropolitan area: a multicenter study with a large number of patients.	Therap Adv Gastroenterol.,20190712,1756284819858511	Original Article
24	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Nivolumab-induced fulminant type 1 diabetes with precipitous fall in C-peptide level.	J Diabetes Investig,201910N/A,N/A	Original Article
25	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Effectiveness of cinacalcet treatment for secondary hyperparathyroidism on hospitalization: Results from the MBD-5D study.	PLoS One,20190514(5),e0216390	Original Article
26	Sho Torii	医学部医学科内科学系循環器内科学	Imaging human platelet adhesion and albumin retention to coronary stents in real-time.	Cardiovasc Revasc Med.,201909,	Original Article
27	Hidekazu Suzuki	医学部医学科内科学系消化器内科学	Neutrophil-activating protein polymorphism of Helicobacter pylori determines the host risk of dyspepsia.	Cell. Mol. Gastroenterol. Hepatol.,2019048,295-297.e6	Original Article
28	Hiroto Takiguchi	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Effect of short-term oral prednisone therapy on blood gene expression: a randomised controlled clinical trial	Respiratory research,20190820(1),176	Original Article
29	Masao Toyoda	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	The Effect of High-concentration Insulin Glargine on the Quality of Life of Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A Pre-post Study (HIGH-QOL STUDY).	Intern Med,20190858(20),2943-2948	Original Article
30	Wada Takehiko	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Falsely Elevated Serum Creatinine Associated With IgM Paraproteinemia	Kidney International Reports,2019125(3),377-381	Original Article
31	Masako Toyosaki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Efficacy and safety of oral deferasirox treatment for transfusional iron overload in pure red cell aplasia patients after allogeneic stem cell transplantation.	Annals of Hematology,20190798(7),1781-1783	Original Article
32	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	International and racial differences in mineral and bone disorder markers and treatments over the first five years of hemodialysis in the Dialysis Outcomes and Practice Patterns Study.	Kidney Med,2019051(3),86-96	Original Article
33	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Semiquantitative analysis of virtual histology derived from intravascular ultrasound images at vascular access stenosis.	J Vasc Access,20190520(1-suppl),55-59	Original Article
34	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Long-Term Efficacy and Safety of Evocalcet in Japanese Patients with Secondary Hyperparathyroidism Receiving Hemodialysis.	Sci Rep,2019049(1),6410	Original Article
35	Hiroataka Komaba	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Changes in fibroblast growth factor 23 and soluble Klotho levels after hemodialysis initiation	Kidney Medicine,2020012,59-67	Original Article
36	Tsutomu Murakami	医学部医学科内科学系循環器内科学	Impact of Trigger on Outcome of Takotsubo Syndrome—Multi-Center Registry From Tokyo Cardiovascular Care Unit Network—	Circulation Reports,2019101(11),493-501	Original Article
37	Hiroataka Komaba	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Magnesium as a Janus-faced inhibitor of calcification	Kidney International,20200397,448-450	Original Article
38	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Randomized clinical trial of ferric citrate hydrate on anemia management in haemodialysis patients with hyperphosphataemia: ASTRIO study.	Sci Rep,2019069(1),8877	Original Article
39	Shinji Sato	医学部医学科内科学系リウマチ内科学	Clinical characteristics of cancer-associated myositis complicated by interstitial lung disease: a large-scale multicentre cohort study	RHEUMATOLOGY,201907未定,doi:10.1093/rheumatology/kez238	Original Article

計21件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
40	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Which is more important for the selection of cord blood units for haematopoietic cell transplantation: the number of CD34-positive cells or total nucleated cells?	British Journal of Haematology,201904185(1),166-169	Original Article
41	Sachiko Yutani	医学部医学科内科学系神経内科学	Inflammatory myopathy associated with PD-1 inhibitors	Journal of Autoimmunity,201906100,105-113	Original Article
42	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Characteristics of Chronic Obstructive Pulmonary Disease Patients with Pulmonary Hypertension Assessed by Echocardiography in a Three-Year Observational Cohort Study	International journal of chronic obstructive pulmonary disease,20200315,487-499	Original Article
43	Hiroyuki Ito	医学部医学科内科学系消化器内科学	A Case of Rare Cutaneous Metastasis from Advanced Pancreatic Cancer	Case reports in oncology,20200113,49-54	Original Article
44	Yoshitaka Arase	医学部医学科内科学系消化器内科学	Usefulness of autotaxin for the complications of liver cirrhosis.	World Journal of Gastroenterology,20200126(1),97-108	Original Article
45	Hiroyuki Ito	医学部医学科内科学系消化器内科学	An Autopsy Case of Anaplastic Pancreatic Ductal Carcinoma (Spindle Cell Type) Multiple Onset in the Pancreas	Case reports in oncology,20190512,332-338	Original Article
46	Ichiro Kuwahira	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Residual high intrapulmonary shunt fraction limits exercise capacity in patients treated with balloon pulmonary angioplasty	Heart and Vessels,20190534,868-874	Original Article
47	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Prognostic significance of pathological tumor response and residual nodal metastasis in patients with esophageal squamous cell carcinoma after neoadjuvant chemotherapy followed by surgery	Esophagus,20190616,395-401	Original Article
48	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Measurements of Specific Heat Capacities Required to Build Computer Simulation Models for Laser Thermotherapy of Brain Lesions	Tokai J Exp Clin Med.,20191244,80-84	Original Article
49	Kota Tsuruya	医学部医学科内科学系消化器内科学	Successful Balloon-Occluded Retrograde Transvenous Obliteration for Gastric Varices Using Foam Sclerosant Followed by Glue Embolization of Gastrorenal Shunt via the Brachial Vein Approach in a Severely Obese Patient	Annals of Vascular Diseases,20191212,562-565	Original Article
50	Masayuki Oki	医学部医学科総合診療学系総合内科学	An infected urachal remnant.	CMAJ,201905191 (20),E562.doi: 10.1503/cmaj. 181400	Original Article
51	Shunji Hirose	医学部医学科内科学系消化器内科学	Rapid regression of B-cell non-Hodgkin's lymphoma after eradication of hepatitis C virus by direct antiviral agents.	Case Reports in Gastroenterology,20190713,336-341	Original Article
52	Seiichiro Kojima	医学部医学科内科学系消化器内科学	Effects of changes in drinking habits on lifestyle-related disease.	Health Evaluation and Promotion,20190646,13-19	Original Article
53	Yoshitaka Arase	医学部医学科内科学系消化器内科学	Effect of Sodium Glucose Co-Transporter 2 Inhibitors on Liver Fat Mass and Body Composition in Patients with Nonalcoholic Fatty Liver Disease and Type 2 Diabetes Mellitus.	Clin Drug Investigation,20190439,631-641	Original Article
54	Koichiro Asano	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Endovascular Catheter Biopsy for the Diagnosis of Pulmonary Artery Sarcoma	Annals of vascular diseases,20190612 (2),256-259	Original Article
55	Hidetsugu Kawai	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Peripheral T-cell lymphomas as fingolimod-associated lymphoproliferative disorder for patients with multiple sclerosis - case report with literature review.	Leukemia & Lymphoma,20191127,1-4	Original Article
56	Tooru Ishihara	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Usefulness of next-generation DNA sequencing for the diagnosis of urinary tract infection	Drug Discoveries & Therapeutics,202003,	Original Article
57	Megumi Shimada	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Subepicardial Left Ventricular Aneurysm With Ventricular Septum Perforation	Journal of Echocardiography,201906,DOI: 10.1007/s12574-019-00431-2.	Original Article
58	Megumi Shimada	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Left Atrial Appendage Morphology and Cardiac Function in Patients With Sinus Rhythm	Journal of Echocardiography,202001,DOI: 10.1007/s12574-020-00462-0	Original Article
59	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	HLA discrepancy between graft and host rather than that graft and first donor impact the second transplant outcome.	Haematologica,201905104(5),1055-1061	Original Article
60	Kenji Yokoyama	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Influence of blood pressure on the effects of low-dose aspirin in elderly patients with multiple atherosclerotic risks	Journal of Hypertension,20190637,1301-1307	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
61	Kenji Yokoyama	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Low-Dose Aspirin for Primary Prevention of Cardiovascular Events in Elderly Japanese Patients with Atherosclerotic Risk Factors: Subanalysis of a Randomized Clinical Trial (PPP-70).	American Journal of Cardiovascular Drugs,20190619,299-311	Original Article
62	Takatoshi Kakuta	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Parathyroid hormone-producing cells exist in adipose tissues surrounding the parathyroid glands in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism	Scientific Reports,20200210:3290,	Original Article
63	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Employment status was highly associated with quality of life after allogeneic hematopoietic cell transplantation, and the association may differ according to patient age and graft-versus-host disease status: analysis of a nationwide QOL survey.	Bone Marrow Transplantation,20190454(4),611-615	Original Article
64	Yohei Ohno	医学部医学科内科学系循環器内科学	Incidence and In-Hospital Outcomes of Patients Presenting With Stent Thrombosis (from the Japanese Nationwide Percutaneous Coronary Intervention Registry).	American Journal of Cardiology,202003125(5),720-726.	Original Article
65	Kota Tsuruya	医学部医学科内科学系消化器内科学	Successful combination of endoscopic and laparoscopic removal of multiple ingested needles	Medicine,202002Volume 99 - Issue 8,e19343	Original Article
66	Fumio Sakamaki	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Bronchial artery embolization for haemothorax and haemoptysis caused by primary lung cancer	Respirology Case Reports,2020028(2),e00529. doi: 10.1002/rcr2.529.	Original Article
67	Makoto Onizuka	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	Clinical significance of low-dose total body irradiation in HLA-mismatched reduced-intensity stem cell transplantation	Bone Marrow Transplantation,20190854(8),1327-1336	Original Article
68	Sho Torii	医学部医学科内科学系循環器内科学	Comparison of Acute Thrombogenicity and Albumin Adsorption in Three Different Durable Polymer Coronary Drug-Eluting Stents	EuroIntervention,202003,EuroIntervention. 2020 Mar 10;EIJ-D-19-00938.	Original Article
69	Yohei Ohno	医学部医学科内科学系循環器内科学	Rescuing from conduction disturbances with recapturable self-expanding transcatheter heart valve system.	Eur Heart J,201906,	Original Article
70	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Carbon monoxide rescues the developmental lethality of experimental rat models of rhabdomyolysis-induced acute kidney injury.	J Pharmacol Exp Therapeutics,202003372 (3),355-365	Original Article
71	Takahiko Kiyooka	医学部医学科内科学系循環器内科学	Clinical characteristics and long-term prognosis of contemporary patients with vasospastic angina: Ethnic differences detected in an international comparative study	Int J Cardiol,201909291,13-18	Original Article
72	Yusuke Kondo	医学部医学科内科学系呼吸器内科学	Bronchial artery embolization for haemothorax and haemoptysis caused by primary lung cancer.	Respirology Case Reports,2020028 (2),e00529	Original Article
73	Shunya Takizawa	医学部医学科内科学系神経内科学	Effectiveness of Nonvitamin K Antagonist Oral Anticoagulants and Warfarin for Preventing Further Cerebral Microbleeds in Acute Ischemic Stroke Patients with Nonvalvular Atrial Fibrillation and At Least One Microbleed: CMB-NOW Multisite Pilot Trial.	J Stroke Cerebrovasc Dis,20190728(7),1918-1925	Original Article
74	Shunya Takizawa	医学部医学科内科学系神経内科学	Development of quality indicators of stroke centers and feasibility of their measurement using a nationwide insurance claims database in Japan: J-ASPECT Study.	Circ J,20191083(11),2292-2302	Original Article
75	Shunya Takizawa	医学部医学科内科学系神経内科学	Insufficient production of IL-10 from M2 macrophages impairs in vitro endothelial progenitor cell differentiation in patients with Moyamoya disease.	Sci Rep,201911,9(1)	Original Article
76	Kengo Ayabe	医学部医学科内科学系循環器内科学	Prediction of binding characteristics between von Willebrand factor and platelet glycoprotein Ib α with various mutations by molecular dynamic simulation.	Thrombosis research,201912,	Original Article
77	Masako Toyosaki	医学部医学科内科学系血液・腫瘍内科学	A Prospective, Longitudinal Observation of the Incidence, Treatment, and Survival of Late Acute and Chronic Graft-versus-Host Disease by National Institutes of Health Criteria in a Japanese Cohort	Biology of Blood and Marrow Transplantation,20190926,162-170	Original Article
78	Masao Toyoda	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Relation between Blood Pressure Management and Renal Effects of Sodium-Glucose Cotransporter 2 Inhibitors in Diabetic Patients with Chronic Kidney Disease.	J Diabetes Res,201911,doi: 10.1155/2019/9415313. eCollection 2019.	Original Article
79	Tsutomu Murakami	医学部医学科内科学系循環器内科学	Platypnoea orthodeoxia syndrome due to deformation of the patent foramen ovale caused by a dilated ascending aorta: a case report	European Heart Journal-Case Reports,2020024(2),1-4	Original Article
80	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Efficacy and safety of evocalcet in Japanese peritoneal dialysis patients.	Clin Exp Nephrol,20190423,739-748	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
81	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	Evaluation of changes in ferritin levels during sacroferric oxyhydroxide treatment.	Chronic Kidney J,20190412(2),294, 299	Original Article
82	Tatehiro Kagawa	医学部医学科内科学系消化器内科学	Early Changes in Circulating FGF19 and Ang-2 Levels as Possible Predictive Biomarkers of Clinical Response to Lenvatinib Therapy in Hepatocellular Carcinoma.	Cancers,20200112(2),293	Original Article
83	Masafumi Fukagawa	医学部医学科内科学系腎・代謝内科学	A collaborative, individual-level analysis compared longitudinal outcomes across the International Network of Chronic Kidney Disease (iNETCKD) cohort.	Kidney Int,2019115,1217-1233	Original Article
84	Tooru Ishihara	医学部医学科総合診療学系総合内科学	Hemolytic uremic syndrome and encephalopathy from Shiga toxin producing Escherichia coli	Canadian Medical Association Journal,201907July 22, 2019,CMAJ July 22, 2019 191 (29) E817	Original Article
85	Tatehiro Kagawa	医学部医学科内科学系消化器内科学	Usefulness of autotaxin for the complications of liver cirrhosis.	World Journal of Gastroenterology,20200126(1),97-108	Original Article
86	Youhei Kawashima	医学部医学科内科学系消化器内科学	A Case of Endoscopic Mucosal Resection of Carcinoma in Adenoma at the Minor Duodenal Papilla	Case Reports in Oncology,20190512巻2 号,354-362	Original Article
87	Tatehiro Kagawa	医学部医学科内科学系消化器内科学	Efficacy and Safety of 3-Year Denosumab Therapy for Osteoporosis in Patients With Autoimmune Liver Diseases.	Hepatology,20200271(2),757-759	Original Article
88	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Is Transperitoneal Laparoscopic Radical Nephrectomy Suitable for Patients With a History of Abdominal Surgery?	Asian Journal of Endoscopic Surgery,20191012,429-433	Original Article
89	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	The characteristics of the patients with radiologically severe cervical ossification of the posterior longitudinal ligament of the spine: A CT-based multicenter cross-sectional study.	Journal of Orthopaedic Science,20191024,763	Original Article
90	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Recurrent trigeminal neuralgia caused by a newly developed offending artery within a short period: a case report	World Neurosurgery,201909Sep 5;132,154-160	Original Article
91	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Predictive and prognostic value of stromal tumour- infiltrating lymphocytes before and after neoadjuvant therapy in triple negative and HER2-positive breast cancer.	Eur J Cancer,201909118,41-48	Original Article
92	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	The relationship between inflammasomes and the endoplasmic reticulum stress response in the injured spinal cord	Neuroscience Letters,201907705,54-59	Original Article
93	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	Modic changes in the cervical spine: Prospective 20- year follow-up study in asymptomatic subjects.	Journal of Orthopaedic Science,20190744,612-617	Original Article
94	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	A population-based recurrence risk management study of patients with pT1 node-negative HER2+ breast cancer: a National Clinical Database study.	Breast Cancer Res Treat,201912178(3),647-656	Original Article
95	Mitsutomo Kohno	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Postintubation Tracheal Stenosis 35 Years After Neonatal Resuscitation	International journal of surgery case reports.,202002,	Original Article
96	Naohiro Aruga	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Postintubation tracheal stenosis 35 years after neonatal resuscitation	International Journal of Surgery Case Reports,202002s2210-2612(20),30104-8	Original Article
97	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Prehospital information and spot sign are complementary predictors of post-admission outcomes of intracerebral hematoma	J Clin Neurosci,20190667,75-79	Original Article
98	Hakushi Kim	医学部医学科外科学系泌尿器科学	D-loop mutations in renal cell carcinoma improve predictive accuracy for cancer-related death by integrating with mutations in the NADH dehydrogenase subunit 1 gene	Genes,201912,2019 Dec 2;10(12). pii: E998. doi: 10.3390/genes10120998.	Original Article
99	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	A Comparison of Cervical and Thoracolumbar Fractures Associated with Di-Use Idiopathic Skeletal Hyperostosis - A Nationwide Multicenter Study	Journal of Clinical Medicine,2020019,E208	Original Article
100	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	Ten-year Longitudinal Follow-up MRI Study of Age- related Changes in Thoracic Intervertebral Discs in Asymptomatic Subjects.	Spine,20191144,22	Original Article
101	Akira Miyajima	医学部医学科外科学系泌尿器科学	A comparison of laparoendoscopic single-site surgery versus conventional procedures for laparoscopic donor nephrectomy: a Japanese multi-institutional retrospective study.	Surgical Endoscopy,201909published on line,doi: 10.1007/s00464-019-07119-9	Original Article

計21件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
102	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Distinct gene expression profiles between primary breast cancers and brain metastases from pair-matched samples.	Sci Rep,2019099(1),13343. doi: 10.1038/s41598-019-50099-y	Original Article
103	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Definitive Tumor Resection after Myeloablative High Dose Chemotherapy is a Feasible and Effective Option in the Multimodal Treatment of High-Risk Neuroblastoma: A Single Institution Experience	J Pediatr Surg,201909,doi:10.1016/j.jpedsurg.2019.08.050. [Epub ahead of print]	Original Article
104	Hajime Kayano	医学部医学科外科学系消化器外科学	Colon cancer arising from colonic diverticulum: A case report	World Journal of Clinical Cases,2019077(13),1643-1651	Original Article
105	Hakushi Kim	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Impact of rhabdoid differentiation on postoperative outcome for patients with NOMO renal cell carcinoma.	Urologic oncology,201906pii: S1078-1439(19)30198-X. do,	Original Article
106	Shinichirou Shimura	医学部医学科外科学系心臓血管外科学	Echocardiography-guided aortic cannulation by the Seldinger technique for type A dissection with cerebral malperfusion	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery,2020032020;159:784-93,784-793	Original Article
107	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	Changes in Spinal Alignment following eXtreme Lateral Interbody Fusion Alone in Patients with Adult Spinal Deformity using Computed Tomography.	Scientific Reports,2019089,12039	Original Article
108	Takeshi Saito	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Assessment of concentrations of four phenothiazine antipsychotics in serum and whole blood using different atomaceous earth-based solid-phase columns: A comparative analysis	Analytical Sciences,20190735,815-819	Original Article
109	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	The correlation analysis between sagittal alignment and cross-sectional area of paraspinous muscle in patients with lumbar spinal stenosis and degenerative spondylolisthesis.	BMC Musculoskeletal Disorders,20190720,352	Original Article
110	Ushio Hanai	医学部医学科外科学系形成外科学	A New Technique Using Modified Dehaan's Method for Median Cleft Lip Closure:A Case Report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201909Vol.44 No.3,168-172	Original Article
111	Kenji Nakamura	医学部医学科外科学系消化器外科学	Clinical Implication of Tumor-invasive Status into the Muscularis Propria in T2 Gastric Cancer	In Vivo,20190733(4),1341-1346	Original Article
112	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Role of Postmastectomy Radiotherapy After Neoadjuvant Chemotherapy in Breast Cancer Patients: A Study from the Japanese Breast Cancer Registry.	Ann Surg Oncol.,20190826(8),2475-2485	Original Article
113	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	The analysis of percutaneous pedicle screw technique with guide wire-less in lateral decubitus position following extreme lateral interbody fusion	J Orthop Surg Res,20190914,304	Original Article
114	Hajime Kayano	医学部医学科外科学系消化器外科学	Short- and Long-term Outcomes of 2-Step Stapled Intracorporeal Versus Extracorporeal Anastomosis in Laparoscopic Colectomy for Colon Cancer	ANTICANCER RESEARCH,20191139 (11),6393-6401	Original Article
115	Hajime Kayano	医学部医学科外科学系消化器外科学	Short-term outcomes of OTSC for anastomotic leakage after laparoscopic colorectal surgery	Minimally Invasive Therapy & Allied Technologies,202003,1-8	Original Article
116	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Benefits and Risks of CT Angiography Immediately after Emergency Arrival for Patients with Intracerebral Hematoma	Neurol Med Chir (Tokyo),20200160,45-52	Original Article
117	Shinya Takiguchi	医学部医学科外科学系移植外科学	Palliative surgery for malignant gastrointestinal obstruction: A community hospital experience	Annals of Cancer Research and Therapy,201912Vol. 27, No. 2, 2019,pp. 80-82	Original Article
118	Shinya Takiguchi	医学部医学科外科学系移植外科学	A case of simultaneous hernia repair and single-incision laparoscopic colectomy for cecum tumor using surgical glove port settled at a fascia defect of the incisional hernia	Annals of Cancer Research and Therapy,201911Vol 27, No. 2, 2019,pp. 87-89	Original Article
119	Rie Aoki	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Clinical significance of the CSF pulsation flow sign in the foramen of Monro on FLAIR in patients with aneurysmal SAH preliminary report	Neurologia medico-chirurgica,20190759,271-280	Original Article
120	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科	Clinical characteristics in patients with ossification of the posterior longitudinal ligament: A prospective multi-institutional cross-sectional study.	Scientific Reports,20200310,5532	Original Article
121	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Basal Cistern Effacement and Pseudo-Subarachnoid Hemorrhage on Computed Tomography Images of Chronic Subdural Hematoma	World Neurosurgery,201912132,e109-e115	Original Article
122	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	Aneurysmal Bone Cyst of the Lumbar Spine in a Patient with Turner Syndrome: A Case Report	Spine Surg Relat Res,2019113(4),396-400	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
123	Hajime Kayano	医学部医学科外科学系消化器外科学	Low psoas muscle index is a poor prognostic factor for lower gastrointestinal perforation: a single-center retrospective cohort study	BMC Surgery,201911,	Original Article
124	Yusuke Tomita	医学部医学科外科学系移植外科学	Treg-Cell-Derived IL-35-Coated Extracellular Vesicles Promote Infectious Tolerance	Cell Reports,20200130 (4),1039-1051	Original Article
125	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科学	Comparison of radiological changes after single-position versus dual-position for lateral interbody fusion and pedicle screw fixation	BMC Musculoskelet Disord,20191220(1),601	Original Article
126	Takeshi Suzuki	医学部医学科外科学系麻酔科学	Aberrant resting-state functional connectivity of the dorsolateral prefrontal cortex to the anterior insula and its association with fear avoidance belief in chronic neck pain patients	PLoS One,2019082,84-95	Original Article
127	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Role of indocyanine green fluorescence imaging on blood flow evaluation of the reconstructed conduit after esophageal cancer surgery	Interactive Clinical Medicine,2019103,1-2	Original Article
128	Soji Ozawa	医学部医学科外科学系消化器外科学	The Visibility of the Terminal Thoracic Duct Into the Venous System Using MR Thoracic Ductography with Balanced Turbo Field Echo Sequence	Academic Radiology,20190426(4),550-554	Original Article
129	Soji Ozawa	医学部医学科外科学系消化器外科学	Prognostic significance of sarcopenia in patients undergoing esophagectomy for superficial esophageal squamous cell carcinoma	Diseases of the Esophagus,20190732(7), https://doi.org/10.1093/dote/doy104	Original Article
130	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Sagittal alignment in an MR-TRUS fusion biopsy using only the prostate contour in the axial image	ROBOMECH Journal,2020017,p.4-11	Original Article
131	Banri Tsuda	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Distinction of IgG4-related mastitis from breast cancer: a case report	Surgical case report,2019075,123	Original Article
132	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Prehospital information and spot sign are complementary predictors of postadmission outcomes of intracerebral hematoma.	Journal of Clinical Neuroscience,20190967,75-79	Original Article
133	Banri Tsuda	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Rare finding of bilateral pseudoangiomatous stromal hyperplasia of the breast: A case report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201912vol.44 No.4,	Original Article
134	Takeshi Suzuki	医学部医学科外科学系麻酔科学	Cardiac output and stroke volume variation measured by the pulse wave transit time method: a comparison with an arterial pressure-based cardiac output system	J Clin Monit Comput,20190633,385-392	Original Article
135	Taku Ukai	医学部医学科外科学系整形外科学	Comparison of Periarticular Multidrug Infiltration and Epidural Catheter Use in Total Knee Arthroplasty: A Prospective Randomized Controlled Study	Journal of Orthopaedic surgery,20200228 巻1号,1-6	Original Article
136	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Postoperative complications of minimally invasive esophagectomy for esophageal cancer. Ann Gastroenterol Surg 2020;4:126-134	Annals of Gastroenterological Surgery,2020034,126-134	Original Article
137	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	A thoroscopically resected case of the diverticulum in the middle esophagus	Surgical Case Reports,2019075,109	Original Article
138	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科学	The factors related to the poor ADL for the patients with osteoporotic vertebral fracture after instrumentation surgery.	European Spine Journal,201908,	Original Article
139	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科学	A Rare Case of Intraspinal Psammomatous Melanotic Schwannoma: A Case Report	Spine Surgery and Related Research.,2019074,91-94	Original Article
140	Katsuya Yokoyama	医学部医学科外科学系整形外科学	A patient with pediatric septic arthritis of the hip complicated with osteomyelitis responds to clindamycin	東海ジャーナル,20190944 (4),113-117	Original Article
141	Hiroyuki Otsuka	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Necessity of revascularization for acute mesenteric ischemia in symptomatic patients with spontaneous isolated dissection of the superior mesenteric artery.	Vascular,20190828,109-114	Original Article
142	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Plasma vasohibin-1 and vasohibin-2 are useful biomarkers in patients with esophageal squamous cell carcinoma	Esophagus,202001doi.org/10.1007/s10388-020-007,doi.org/10.1007/s10388-020-007	Original Article
143	Mitsutomo Kohno	医学部医学科外科学系呼吸器外科学	Current status of diagnostic and therapeutic bronchoscopy in Japan: 2016 national survey of bronchoscopy.	Respiratory investigation,20190557(3),238-244	Original Article

計21件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
144	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Verucus carcinoma of the esophagus: A case report and literature review	Surgical Case Reports,2020026,35	Original Article
145	Yamato Ninomiya	医学部医学科外科学系消化器外科学	Thoracoscopic esophagectomy with left recurrent laryngeal nerve monitoring for thoracic esophageal cancer in a patient with a right aortic arch: A case report	Surgical Case Reports,2020036:62,10.1186/s40792-020-00819-8	Original Article
146	Takeshi Saito	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	Determination of Glyphosate and Glufosinate in Human Serum by MonoSpin TiO Extraction and Liquid Chromatography-Tandem Mass Spectrometry.	Acta Chromatographica,20200332(1),10-15	Original Article
147	Takeshi Saito	医学部医学科総合診療学系救命救急医学	High-Throughput MonoSpin Extraction for Quantification of Cardiovascular Drugs in Serum Coupled to High-Performance Liquid Chromatography-Mass Spectrometry.	Acta Chromatographica,20191231(4),294-298	Original Article
148	Masato Sato	医学部医学科外科学系整形外科学	Transcriptomic and Proteomic Analyses Reveal the Potential Mode of Action of Chondrocyte Sheets in Hyaline Cartilage Regeneration.	International Journal of Molecular Sciences,20191221(1),E149	Original Article
149	Toru Hanamura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Clinical Significance of Serum PSA in Breast Cancer Patients	BMC Cancer,2019102019 Oct 29;19(1),1021	Original Article
150	Yusuke Tomita	医学部医学科外科学系移植外科学	Single fixed low-dose rituximab as induction therapy suppresses de novo donor-specific anti-HLA antibody production in ABO compatible living kidney transplant recipients	PLOS ONE,20191014(10),e0224203	Original Article
151	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科学	Spinal fractures in patients with Diffuse idiopathic skeletal hyperostosis:A nationwide multi-institution survey.	Journal of Orthopaedic Science,20190724,601-606	Original Article
152	Toshio Nakagohri	医学部医学科外科学系消化器外科学	Combination gemcitabine plus S-1 versus gemcitabine plus cisplatin for advanced/recurrent biliary tract cancer: the FUGA-BT (JCOG1113) randomized phase III clinical trial	Ann Oncology,20191230巻5号,1050-1958	Original Article
153	Kanshu Cho	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Severe spinal cord compression by anomalous vertebral arteries treated with Gore-Tex tape transportation technique	World Neurosurgery,202001133,253-255	Original Article
154	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Simple Identification of Cerebrospinal Fluid Turbulent Motion Using a Dynamic Improved Motion-sensitized Driven-equilibrium Steady-state Free Precession Method Applied to Various Types of Cerebrospinal Fluid Motion Disturbance	Neurol Med Chir (Tokyo),20200160,30-36	Original Article
155	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Neuroendoscopic evacuation for spontaneous cerebellar hemorrhage is a safe and secure approach and may become a mainstream technique	Neurol Med Chir (Tokyo),20191159,423-429	Original Article
156	Hiroyuki Katoh	医学部医学科外科学系整形外科学	Regeneration of Spinal Cord Connectivity Through Stem Cell Transplantation and Biomaterial Scaffolds	Frontiers in Cellular Neuroscience,20190613,248	Original Article
157	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Efficacy of denosumab for restoring normal bone mineral density in women receiving adjuvant aromatase inhibitors for early breast cancer.	Medicine (Baltimore),20190898(32),e16770. doi: 10.1097/MD.00000000000016770	Original Article
158	Yusuke Tomita	医学部医学科外科学系移植外科学	Primary Nonfunction on Kidney Transplant Recipients From Donation After Circulatory Death Donors	Transplantation proc,20190951,2523-2526	Original Article
159	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	ASO Author Reflections: Impact of Radiotherapy for Breast Cancer is Changing in the Modern Era.	Ann Surg Oncol,20191226(Suppl 3),780-781	Original Article
160	Mikio Mikami	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Association of Radical Hysterectomy Surgical Volume and Survival for Early-Stage Cervical Cancer	OBSTETRICS & GYNECOLOGY,201906133(6),1086-1098	Original Article
161	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Comparison of long-term outcome between radical esophagectomy and definitive chemoradiotherapy in patients with clinical T1bN0M0 esophageal squamous cell carcinoma	Journal of Thoracic Disease,20190811,4654-62	Original Article
162	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Preauricular Retromandibular Trans-Tympanic Plate and Styloid Process Keyhole Approach to Parapharyngeal Lesions: A Laboratory Study	Acta Neurochirurgica,2020012020 Jan 21,2020 Jan 21. Doi: 10.1007/s00701-020-04217-9	Original Article
163	Naoki Niikura	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Impact of Subtype on Survival of Young Patients With Stage IV Breast Cancer.	Clin Breast Cancer,20190619(3),200-207	Original Article
164	Masahiro Nitta	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Effect of neoadjuvant chemotherapy in patients undergoing radical cystectomy for muscle-invasive bladder cancer: a retrospective, multi-institutional study	Japanese Journal of Clinical Oncology.20200150(1),73-79	Original Article

計21件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
165	Banri Tsuda	医学部医学科外科学系乳腺・内分泌外科学	Difficult Diagnosis of Peritoneal Serous Papillary Carcinoma in a 63-year-old Woman: A Case Report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201909Vol.44,No.3	Original Article
166	Hajime Kayano	医学部医学科外科学系消化器外科学	Evaluation of laparoscopic surgery for small bowel obstruction and factors related to outcomes	Videosurgery and Other Miniinvasive Techniques,20200215(2),268-275	Original Article
167	Mitsunori Matsumae	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Recurrent trigeminal neuralgia by a subsequently developed offending artery within a short period	WORLD NEUROSURGERY,201904,	Original Article
168	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Esophagectomy for the patients with squamous cell carcinoma of the esophagus after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	International Journal of Clinical Oncology,20190925,82-8	Original Article
169	Toshio Nakagohri	医学部医学科外科学系消化器外科学	Histological and immunohistochemical analyses of splenic epidermoid cysts.	Ann Diagn Pathol,20190841,51-56	Original Article
170	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Administration of corticosteroids, ascorbic acid and thiamine improves oxygenation after thoracoscopic esophagectomy	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery,201909doi: 10.5761/atcs.0a,doi: 10.5761/atcs.0a	Original Article
171	Sunao Shoji	医学部医学科外科学系泌尿器科学	Editorial Comment to Assessment of the influence of transrectal and transperineal prostate biopsies on erectile function: A prospective observational single-center study	International Journal of Urology,201911vol.26(11),1058	Original Article
172	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Wedge-technique for transposition of the vertebral artery in microvascular decompression for hemifacial spasm: Technical nuances and surgical outcomes.	Acta Neurochirurgica (Wien),201904Apr 27,doi: 10.1007/s00701-018-03793-1. [Epub ahead of print]	Original Article
173	Soji Ozawa	医学部医学科外科学系消化器外科学	Prognostic significance of pathological tumor response and residual nodal metastasis in patients with esophageal squamous cell carcinoma after neoadjuvant chemotherapy followed by surgery	Esophagus,20191016(4),395-401	Original Article
174	Akihiko Hiyama	医学部医学科外科学系整形外科	Minimal sustainability of dedifferentiation effected by ROCK inhibitor on Nucleus Pulposus cells in vitro.	Spine Surgery and Related Research,2019083(4),385-391	Original Article
175	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Basal cistern enhancement and pseudo-subarachnoid hemorrhage on CT images of chronic subdural hematoma	World Neurosurgery,201912132,e109-e115	Original Article
176	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Micropatties are indispensable instrument for successful microneurosurgery; Technical note	World Neurosurgery,202001Sep 27;133,60-65	Original Article
177	Miho Yamamoto	医学部医学科外科学系消化器外科学	Prognostic significance of sarcopenia in patients undergoing esophagectomy for superficial esophageal squamous cell carcinoma.	Diseases of the Esophagus,20190732.7,	Original Article
178	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	FGF5 methylation is a sensitive marker of esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy	Scientific Report,2019099,13347	Original Article
179	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Efficacy of preserving the residual stomach in esophageal cancer patients with previous gastrectomy	Gen Thorac Cardiovasc Surg,20190467,470-8	Original Article
180	Hideki Izumi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Successful laparoscopic resection for gastric duplication cyst: a case report. Journal: Journal of Medical Case Reports	Journal of Medical Case Reports,201906240,13	Original Article
181	Toshihiko Watanabe	医学部医学科外科学系小児外科学	Laparoscopic Partial Closure for Congenital Portosystemic Shunt—Indications, Postoperative Management, and Subsequent Complete Closure	J Laparoendosc Adv Surg Tech A,20191129(4),573-578	Original Article
182	Kazuo Koyanagi	医学部医学科外科学系消化器外科学	Outcomes of concurrent chemoradiotherapy versus chemotherapy alone for esophageal squamous cell cancer patients presenting with oligometastases	Journal of Thoracic Disease,20190411,1536-45	Original Article
183	Takayuki Aoki	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	A mucinous adenocarcinoma of the lip with elevated serum carcinoembryonic antigen levels: a case report.	Oral and Maxillofacial Surgery,20200324,127-132	Original Article
184	Masato Sato	医学部医学科外科学系整形外科	Multilineage-differentiating stress-enduring (Muse)-like cells exist in synovial tissue	Regenerative Therapy,20190610,17-26	Original Article
185	Yoichi Nonaka	医学部医学科外科学系脳神経外科学	Neuroendoscopic evacuation for spontaneous cerebellar hemorrhage is a feasible approach and may become a mainstream technique.	Neurologia medico-chirurgica,20191159,423-429	Original Article

計21件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
186	Takayuki Aoki	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	To what extent does the EQ-5D-3L correlate with the FACT-H&N of patients with oral cancer during the perioperative period?	Int J Clin Oncol,20190424,350-358	Original Article
187	Takayuki Aoki	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Inter-rater reliability of the Oral Assessment Guide for oral cancer patients between nurses and dental hygienists: the difficulties in objectively assessing oral health.	Supportive Care in Cancer,20190427,1673-1677	Original Article
188	Daisuke Maki	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	A multicenter phase II trial of paclitaxel, carboplatin, and cetuximab followed by chemoradiotherapy in patients with unresectable locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck	Cancer Medicine,2020039,1671-1682	Original Article
189	Tomotaka Mabuchi	医学部医学科専門診療学系皮膚科学	Case of psoriasis vulgaris with atrial fibrillation, heart failure and chronic kidney disease which were found accidentally through blood examination during apremilast treatment	The Journal of Dermatology,201907Vol.46, Issue.7,239-240	Original Article
190	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Traditional Chinese therapy initiates oral feeding in a stroked woman after three years of nasogastric tube feeding	Journal of family medicine and primary care,2019098(9),3059-3060	Original Article
191	Kosuke Akiyama	医学部医学科総合診療学系小児科学	Killer-cell immunoglobulin-like receptor ligand mismatch cord blood transplantation in high-risk neuroblastoma.	Pediatr Int,2019066(6),566-571	Original Article
192	Yasuyuki Suzuki	医学部医学科専門診療学系眼科学	A Viscoelastic Aspiration Technique for Autologous Transplantation of the Free-Flap Inner Limiting Membrane During Macular Hole Surgery	Retina,2019102019 Oct;39,S87-S91	Original Article
193	Masashi Hamada	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	Latency shift in compound muscle action potentials during electroneurography in facial palsy	European Archives of Otorhinolaryngology,201912276,3281-3286	Original Article
194	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Development of a Self-Assessment Questionnaire for Kampo Medical Knowledge and Skills: An Evaluation of Medical Students Before and After Clinical Clerkship	International Medical Journal,20200227(1),83-87	Original Article
195	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Adverse Events Associated with Ethical Kampo Formulations: Analysis of the Domestic Adverse-Event Data Reports of the Ministry of Health, Labor, and Welfare in Japan	Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine,2019041D 1643804,14 pages	Original Article
196	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Potential therapeutic effect of Ninjinyoito for the treatment of pulmonary nontuberculous mycobacterial infections: A case report	Journal of family medicine and primary care,2019098(9),3025-3027	Original Article
197	Tatsuya Nogami	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Effect of kamikihito on plateletcount: A retrospective pilot study	Tradit Kampo Med,2019126(3),130-133	Original Article
198	Shiro Yamada	医学部医学科総合診療学系小児科学	New PCNT candidate missense variant in a patient with oral and maxillofacial osteodysplasia: a case report.	BMC Med Genet.,20190720(1),126	Original Article
199	Kenji Okami	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	A multicenter phase II trial of paclitaxel, carboplatin, and cetuximab followed by chemoradiotherapy in patients with unresectable locally advanced squamous cell carcinoma of the head and neck.	Cancer Med.,2020019 (5),1671-1682.	Original Article
200	Katsunaka Mikami	医学部医学科総合診療学系精神科学	The Gut Microbiome Derived From Anorexia Nervosa Patients Impairs Weight Gain and Behavioral Performance in Female Mice	Endocrinology,201910160(10),2441-2452	Original Article
201	Kota Hirai	医学部医学科総合診療学系小児科学	Objective measurement of nocturnal cough in infants with acute bronchiolitis.	Respiratory Investigation,201911Volume 57, Issue 6, November,Pages 605-610	Original Article
202	Natsumi Futakami	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Efficacy evaluation of 2D, 3D U-Net semantic segmentation and atlas-based segmentation of normal lungs excluding the trachea and main bronchi	Journal of Radiation Research,20200361(2),257-264	Original Article
203	Jun Hashimoto	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Stochastic Gastric Image Augmentation for Cancer Detection from X-ray Images	IEEE International Conference on Big Data (Big Data),2019122019,4858-4863	Original Article
204	Kosuke Tomita	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Transcatheter arterial embolization for unruptured renal angioyolipoma using a 1.8-Fr tip microballoon catheter with a mixture of ethanol and Lipiodol	CVIR Endovascular,2020013,3	Original Article
205	Hiroshi Yamazaki	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	New PCNT candidate missense variant in a patient with oral and maxillofacial osteodysplasia: a case report.	BMC Med Genet.,20190720(1),126	Original Article
206	Kenji Okami	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	The clinicopathological significance of the adipophilin and fatty acid synthase expression in salivary duct carcinoma.	Virchows Arch,202002doi: 10.1007,s00428-020-02777-w.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
207	Ken Harada	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Inter-fractional variations in the dosimetric parameters of accelerated partial breast irradiation using a strut-adjusted volume implant	J Radiat Res.,20200161(1),123-133	Original Article
208	Ken Harada	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Dose escalation of external beam radiotherapy for high-risk prostate cancer-Impact of multiple high-risk factor.	Asian J Urol,2019042,192-199	Original Article
209	Mikio Mikami	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Japan Society of Gynecologic Oncology 2018 guidelines for treatment of uterine body neoplasms.	Journal of Gynecologic Oncology,20200131(1),e18	Original Article
210	Kenji Kawai	医学部医学科専門診療学系眼科学	An evaluation of glistening and stability of intraocular lens material manufactured by different methods	European Journal of Ophthalmology,202001,	Original Article
211	Kosuke Akiyama	医学部医学科総合診療学系小児科学	Neurocognitive Evaluation of Japanese Childhood Cancer Survivors	Showa Univ J Med Sci,20200332(1),25-32	Original Article
212	Masahiko Kato	医学部医学科総合診療学系小児科学	The suppressive role of Streptococcus pneumoniae colonization in acute exacerbations of childhood bronchial asthma	International Archives of Allergy and Immunology,201912181(3),191-199	Original Article
213	Tetsu Niwa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Imaging of cystic lung lesions in infants using pointwise encoding time reduction with radial acquisition (PETRA).	Magn Reson Med Sci.,20191018,299-300	Original Article
214	Katsunaka Mikami	医学部医学科総合診療学系精神科学	Effect of Oral Iron Administration on Mental State in Children With Low Serum Ferritin Concentration	Global Pediatric Health,20191029;6,2333794X19884816	Original Article
215	Tetsu Niwa	医学部医学科専門診療学系画像診断学	Age related signal changes of the pituitary stalk on thin-slice magnetic resonance imaging in infants.	Brain Dev.,20190441,327-333.	Original Article
216	Katsunaka Mikami	医学部医学科総合診療学系精神科学	Gender Differences in the Suicide Attempts of Adolescents in Emergency Departments: Focusing on Individuals with Autism Spectrum Disorder	Adolescent Psychiatry,2020019(3),232-240	Original Article
217	Yoshihiro Nishijima	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Retrospective study of collection methods in laparoscopic myomectomy	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,201909Vol.44 No.3,pp.54-58	Original Article
218	Kenji Okami	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	Addition of S-1 to radiotherapy for treatment of T2N0 glottic cancer: Results of the multiple-center retrospective cohort study in Japan with a propensity score analysis	Oral Oncol,20191299,	Original Article
219	Masahiko Kato	医学部医学科総合診療学系小児科学	Sweet potato was not so sweet: undetected foreign-body aspiration in a healthy child leading to acute bronchial asthma	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,20190444(1),1-4	Original Article
220	Yuji Koyama	医学部医学科専門診療学系リハビリテーション科学	Successful Treatment with the Chin-down Maneuver of Dysphagia Secondary to Descending Necrotizing Mediastinitis: A Case Study	Progress in Rehabilitation Medicine,202002Vol. 5,doi: 10.2490/prm.20200002	Original Article
221	Yoshinobu Nakada	医学部医学科専門診療学系漢方医学	Inter-Hospital Joint Training in Kampo Education for Residents: A Pilot Study	Int Med J,20190426(2),151-154	Original Article
222	Kenji Okami	医学部医学科専門診療学系耳鼻咽喉科学	Central pathology review of salivary gland adenoid cystic carcinoma.	Head Neck,202001doi: 10.1002/hed.26081,doi: 10.1002/hed.26081	Original Article
223	Takeshi Akiba	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	National survey on total-body irradiation prior to reduced-intensity stem cell transplantation in Japan: The Japanese Radiation Oncology Study Group.	Journal of Radiation Research,201905[Epub ahead of print],[Epub ahead of print]	Original Article
224	Yoshitsugu Matsumoto	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Basic evaluation of a novel four-dimensional target and human body phantom	Physics in Medicine and Biology.,201905Volume 64, Number 14,	Original Article
225	Akitomo Sugawara	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Questionnaire survey comparing surgery and stereotactic body radiotherapy for lung cancer: lessons from patients with experience of both modalities	Journal of Thoracic Disease,20190611(6),2479-2489	Original Article
226	Akitomo Sugawara	医学部医学科専門診療学系放射線治療科学	Stereotactic body radiotherapy for patients with non-small-cell lung cancer using RapidArc delivery and a steep dose gradient: prescription of 60 percent isodose line of maximum dose fitting to the planning target volume.	Journal of Radiation Research,20190560(3),364-370	Original Article
227	Hitoshi Ishimoto	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Atypical presentation of duodenal atresia concomitant with type-A esophageal atresia in fetal life: a case report	Tokai J Exp Clin Med,20190744(2),31-33	Original Article

計21件

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
228	Tetsuji Iida	医学部医学科専門診療学系産婦人科学	Recurrent cervical cancer with intestinal perforation that was treated to Bevacizumab after long-term NSAIDs administration and was related with laparoscopy-assisted anastomosis	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine, 201909 Vol.44 No.3 September 2019, 40-44	Original Article
229	Hiroshi Yamazaki	医学部医学科専門診療学系口腔外科学	Altered DNA Methylation Is Associated With Aberrant Stemness Gene Expression in Early-stage HNSCC.	International Journal of Oncology, 201908 Volume 55, 915-924	Original Article

計2件

計229件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					
2					
3					
~					

計0件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 事務局の設置、責務・業務、委員の構成と指名、開催と採決、運営審査委員会情報の公表、審査資料、臨床研究の審査、審査結果の判定区分、迅速審査、委員長・副委員長及び委員の業務、倫理審査委員会事務局の業務、審査結果の通知	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 学校法人東海大学利益相反に関する規程 学校法人東海大学利益相反ポリシー 東海大学伊勢原校舎利益相反マネジメント委員会規程	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 6 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年一回
・ コンプライアンス及び研究倫理について、外部講師を招いた講習会をWEBにて適宜受講（閲覧）できる体制である。	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各研修領域の研修プログラムに沿い、到達目標の達成を目指し、専門医取得に向けた臨床研修を実施。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 105 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小澤 秀樹	総合内科	教授	34年	
伊莉 裕二	循環器内科	教授	34年	
吉岡公一郎	循環器内科	教授	34年	
後藤 信哉	循環器内科	教授	34年	
浅野浩一郎	呼吸器内科	教授	35年	
松嶋 成志	消化器内科	教授	35年	
加川 建弘	消化器内科	教授	33年	
鈴木 孝良	消化器内科	教授	31年	
鈴木 秀和	消化器内科	教授	31年	
安藤 潔	血液腫瘍内科	教授	37年	
川田 浩志	血液腫瘍内科	教授	31年	
小川 吉明	血液腫瘍内科	教授	30年	
瀧澤 俊也	神経内科	教授	39年	
永田栄一郎	神経内科	教授	31年	
深川 雅史	腎内分泌代謝内科	教授	37年	
佐藤 慎二	リウマチ内科	教授	27年	
長 泰則	心臓血管外科	教授	30年	
中村 道郎	移植外科	教授	33年	
小澤 壯治	消化器外科	教授	38年	
中郡 聡夫	消化器外科	教授	37年	
山本聖一郎	消化器外科	教授	29年	
岩崎 正之	呼吸器外科	教授	36年	
河野 光智	呼吸器外科	准教授	27年	
松前 光紀	脳神経外科	教授	38年	
張 漢秀	脳神経外科	教授	37年	
反町 隆俊	脳神経外科	教授	35年	
渡辺 稔彦	小児外科	教授	24年	
新倉 直樹	乳腺内分泌外科	教授	18年	
渡辺 雅彦	整形外科	教授	33年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
佐藤 正人	整形外科	教授	29年	
赤松 正	形成外科	教授	30年	
宮嶋 哲	泌尿器科	教授	30年	
西山 純一	麻酔科	教授	31年	
鈴木 武志	麻酔科	教授	22年	
中川 儀英	救命救急科	教授	33年	
守田 誠司	救命救急科	教授	21年	
金子 明寛	歯科口腔外科	教授	39年	
太田 嘉英	歯科口腔外科	教授	35年	
望月 博之	小児科	教授	39年	
鈴木 啓二	小児科	教授	38年	
内山 温	小児科	教授	30年	
三上 幹男	産婦人科	教授	36年	
石本 人士	産婦人科	教授	33年	
平澤 猛	産婦人科	准教授	28年	
松本 英夫	精神科	教授	37年	
山本 賢司	精神科	教授	30年	
馬淵 智生	皮膚科	教授	21年	
飯田 政弘	耳鼻咽喉科	教授	40年	
大上 研二	耳鼻咽喉科	教授	34年	
濱田 昌史	耳鼻咽喉科	教授	31年	
鈴木 康之	眼科	教授	34年	
正門 由久	リハビリテーション科	教授	38年	
橋本 順	画像診断科	教授	32年	
丹羽 徹	画像診断科	教授	25年	
北原 規	放射線治療科	特任第2種B①教授	41年	
菅原 章友	放射線治療科	教授	23年	
中村 直哉	病理診断科	教授	35年	
宮地 勇人	臨床検査科	教授	38年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【認定静脈注射看護師講習会】

- ・研修の主な内容
静脈注射を単独で施行できる看護師の育成
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
1回目：2019年 6月15日（40名）
2回目：2019年 7月 6日（34名）
3回目：2020年 1月18日（40名）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【医療チームを動かすリーダーシップ研修】

- ・研修の主な内容
組織におけるリーダーの役割を学ぶ。現場の業務に潜在している危険を予測する能力を高める
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2019年10月25日（70名）

【看護単位責任者就任時研修】

- ・2019年度 該当者なし

【主任就任時研修】

- ・研修の主な内容
主任としての役割と責任（看護単位責任者の補佐・代行業務）について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2019年 5月 8日（4名）

【副主任就任時研修】

- ・研修の主な内容
副主任の役割と責任、副主任活動について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2019年 5月28日（6名）

【看護単位責任者研修（リフレッシュ研修）】

- ・研修の主な内容
「ACPについて①②」看護単位責任者としての役割や業務遂行に必要な能力開発
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2020年 1月 16日（36名）
2020年 2月 13日（35名）

【臨時研修（医療メディエーション研修）】

- ・研修の主な内容
看護管理者に必要な医療メディエーション手法を学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2020年 2月 20日（木）（54名）

【主任研修（リフレッシュ研修）】

- ・研修の主な内容
主任としての役割や業務遂行に必要な能力開発
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2019年 6月 12日（40名）
2019年 11月 23日（40名）

【副主任研修（リフレッシュ研修）】

- ・研修の主な内容
副主任としての役割や業務遂行に必要な能力開発
- ・研修の期間・実施回数・参加人数
2020年 1月 29日（74名）

【診療技術部研修会】～ Horizontal Workshop ～

- ・研修の主な内容
ノンテクニカルスキルの向上：コミュニケーション能力・リーダーシップ・マインドセット
フィードバック能力
- ・研修の期間・実施回数
2019年7月18日、9月19日、11月21日、2020年1月16日 計4回
- ・研修の参加人数
計4回 延べ人数 331名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容・実施期間・参加人数
2019年 5月14日： 転倒・転落予防（0名）
2019年 5月24日： ドレーン管理（3名）
2019年 6月28日： 創傷管理（10名）
2019年 7月25日： 褥瘡予防策と経路別（5名）
2019年 9月20日： 輸血療法（3名）
2019年10月24日： 周術期看護（2名）
2019年11月21日： 摂食・嚥下障害の看護と訓練技術（基礎）（1名）
2020年 1月17日： 心電図の理解と不整脈の見方（12名）
2019年12月19日： 呼吸理学療法（3名）
2019年 5月18日・19日： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース
（2日間合計14名）
2019年11月16日・17日： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース
（2日間合計28名）
2020年 2月 1日・ 2日： 緊急度判断（JTAS/トリアージ）・臨床推論コース
（2日間合計34名）
2019年 6月16日・10月6日・2020年1月19日： 患者急変対応・気づきコース
（3日間合計52名）
2019年 9月 8日： 気づきインストラクターコース（7名）
2019年 6月 8日・8月3日・11月9日： JCLSコース（3日間合計15名）

【造血幹細胞移に研修】

- 2019年 8月 3日（土） 第6回造血細胞移植コーディネーターセミナー（17名）
2019年11月23日（土） 第4回小児造血細胞移植セミナー（77回）

2019年12月14日(土) 第7回造血細胞移植コーディネーターセミナー(26名)
2020年1月18日(土) 第8回移植患者の関わる看護師のための勉強会(100名)

【認定輸血検査技師制度協議会指定施設研修】

- ・研修の主な内容 輸血業務見学、輸血検査実技実習など
- ・研修の期間・実施回数 2019年5月13日(月)～14日(火)1回
- ・研修の参加人数 3名

【造血幹細胞移植に係る医療従事者研修】

- ・研修の主な内容 同種造血幹細胞移植に関連する検査の知識向上のための教育講演と施設見学(一部実習あり)
- ・研修の期間・実施回数 2019年10月1日(火)～2日(水)1回
- ・研修の参加人数 23名

【鏡検実習】

- ・研修の主な内容 各種検体スクリーニングおよび同定
- ・研修の期間・実施回数 2019年11月29日(水)1回
- ・研修の参加人数 1名

【移植患者に関わる看護師の為の口腔ケア勉強会】

- ・研修の主な内容 造血幹細胞移植中に生じる口腔有害事象について～歯科介入の意義～移植治療中の口腔ケアについて
- ・研修の期間・実施回数 2019年9月7日(土)、2020年2月1日 計 2回
- ・研修の参加人数 20名(12名+8名)

【移植拠点病院事業関東甲信越ブロックセミナー】～未来につなげる移植チーム医療の構築～

- ・研修の主な内容 GVHDについて、がん患者における妊孕性温存について
- ・研修の期間・実施回数 2020年2月8日 計 1回
- ・研修の参加人数 56名

【研修会】

- ・研修の主な内容 浮腫評価とInBody活用事例
- ・研修の期間・実施回数 2019年6月27日 計 1回
- ・研修の参加人数 10名

【がん地域連携研修会】

- ・研修の主な内容 嚥下機能に合わせた食事サポート
- ・研修の期間・実施回数 2019年7月25日 計 1回
- ・研修の参加人数 40名

【医療介護関係者向け研修会】

- ・研修の主な内容 退院に向けての支援・在宅医療の課題
- ・研修の期間・実施回数 2019年8月8日 計 1回
- ・研修の参加人数 86名

【東海大学3Cセミナー】

- ・研修の主な内容 カーボカウントの栄養指導
- ・研修の期間・実施回数 2019年8月24日 計 1回
- ・研修の参加人数 80名

【地域連携栄養ケア研究会】

- ・研修の主な内容 災害時における栄養士の役割

・研修の期間・実施回数 2019年9月7日 計 1回

・研修の参加人数 25名

【がん地域連携研修会】

・研修の主な内容 がん患者の摂食嚥下療法

・研修の期間・実施回数 2019年7月25日 計 1回

・研修の参加人数 40名

【救急看護認定看護師教育課程】

・研修の主な内容 急性期リハビリテーション

・研修の期間・実施回数 2019年11月7日 計 1回

・研修の参加人数 23名

【造血幹細胞移植推進拠点病院】第2回造血細胞移植ベーシックセミナー

・研修の主な内容 基本的な内容を各領域のスペシャリストより講演

・研修の期間・実施回数 2019年9月21日 計 1回

・研修の参加人数 120名

【2019年度 摂食・嚥下勉強会】全9回

・研修の主な内容 摂食嚥下評価・訓練の基礎～実技

・研修の期間・実施回数 6月26日～2月26日 計 9回

・研修の参加人数 延べ8名

【救急看護認定看護師教育課程】

・研修の主な内容 ・救急医療におけるリスクマネジメント・生命維持管理装置の安全対策

・研修の期間・実施回数 2019年10月9日 計 1回

・研修の参加人数 延べ46名

【医療技術等国際展開推進事業】

・研修の主な内容 タイ国BME（生体工学技士）の人材育成

・研修の期間・実施回数 2019年10月21日～12月6日 計 2回（1回5日間）

・研修の参加人数 延べ10名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

2019年度 病院職員研修 年間計画

2019年9月20日 現在

研修会名	日程	研修会分類	研修会内容	参加部門	出席者リストの有無
①医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修					
2019年度新任職員研修会	2019/4/2	研修会	医療安全(医薬品の安全管理)	看護部、診療技術部、事務部、薬剤部	あり
10B病棟 新人看護師研修会	2019/4/11	研修会	薬剤師の職種業務について	看護部	なし
7B病棟における麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について	2019/4/15	研修会	7B病棟における麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について	看護部	なし
看護部新採用者研修	2019/4/20	研修会	医薬品の安全管理	看護部	あり
接遇向上研修会	2019/5/14	研修会	接遇向上について	看護部、他事務職員	あり
臨床研究に関する知識	2019/6/1~7/31	e-Learning	臨床研究に関する知識	看護部、診療技術部、事務部、薬剤部	あり
脳死判定シミュレーション	2019/7/20	研修会	マナーに沿った判定手順の確認	看護部	なし
安全な輸血療法のための輸血室の業務について	2019年7月24日	研修会	安全な輸血療法について	事務職員(看護部所属)	なし
婦人科がんに対するがん化学療法	2019/7/25	研修会	婦人科がんに対するがん化学療法について	看護部	なし
妊婦授乳婦の薬物治療	2019/8/19	研修会	妊婦授乳婦の薬物治療について	看護部	なし
輸血製剤の取扱いと注意点について	2019/10/17	研修会	輸血製剤の取扱いと注意点について	腎・透析センター職員	なし
NICU・GCU病棟 注射薬無菌調製業務	2019/10/24、2020/01/10	研修会	クリンベットの使用方法・注射薬無菌調製について	看護部	なし
褥瘡対策委員会	2019/11/2~12/28	e-Learning	褥瘡に関する知識について	院内教職員	あり
保険医療講習会	2019/11/20	講習会	保険診療の理解のために	院内教職員	あり
カフアシスト講習会	2019/5/7、2019/9/9、2019/1/20	講習会	カフアシストに関する基礎知識・操作実技	院内教職員	あり
トクターヘリ研修会(新編)	2019/5/8、2019/6/5、2019/7/2、2019/9/3	講習会	運用システム、航空機機体送迎の生理学、ヘリ搭乗に必要な基礎知識	医師・看護師・療法士(リハビリ)	あり
6階病棟における重点管理薬品の管理	2019/6/21、2019/6/27	講習会	6階病棟における麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について	トクターヘリに搭乗する教職員等	あり
4病院診療情報管理士勉強会	2019/6/26、2019/10/23、2019/12/25、2020/2/26	研修会	ICDコーディングの知識、技術向上、診療情報管理士の知識の標準化、スキルアップ	看護部	なし
診療技術科勉強会	2019/6/5、2019/9/4、2019/10/30、2019/11/21、2020/1/22	研修会	感染対策、東洋医学・採血時の注意・薬剤等	院内教職員	あり
救命救急士講義	2019/7/22、2019/7/31	研修会	救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について	救命救急士	なし
失語症勉強会	2019/8/15、2019/8/29、2019/9/12、2019/9/26、2019/10/17、2019/10/31	研修会	失語症に関する概論・スクリーニング・対応	院内教職員	あり
診療情報管理士スタートアップセミナー	2019/8/16、2019/8/19、2019/9/11、2020/1/16	研修会	ICDコーディングの導入編・基礎講習	診療情報管理課、医事課	あり
腎・透析センター勉強会	2020/1/16	研修会	透析患者の薬物管理について	診療技術部	未定
臨床検査に必要な知識	2020/1/14~2/29	e-Learning	検査に関する基礎知識	院内教職員(事務職員、非常勤医師除く)	あり
輸血医療について	4月	研修会	採体検査の説明と注意点	看護部	あり
今年聞けない、採血時の注意点	7月・9月(2回)	研修会	輸血医療について	研修医・看護師・病院群教職員	あり
トクターヘリ医療要員講習会(リカレント)	年1回、年度始めに随時対応	講習会	採血時の注意点について	看護部	あり
聴取病教育	毎週開催	講習会	聴取病に関する基礎知識	院内教職員	あり
移動動作介助講習会	毎月開催	講習会	移動動作介助方法について	院内教職員	あり
摂食・嚥下勉強会	毎月開催	講習会	摂食・嚥下に関する基礎知識・実技	院内教職員	あり
ERにおける血液製剤の申込み方法と注意点	毎月開催	講習会	安全な輸血実施体制について	研修医・救命士	なし
②業務の管理に関する研修					
新任職員研修会	2019/4/1~2019/4/4	研修会	新任職員として必要な初期研修	4病院新任職員	あり
執行部研修会	2019/5/15	研修会	4病院実績報告および事業計画について	4病院執行部	あり
診療技術部研修会	2019/7/18、2019/9/19、2019/11/21、2019/1/16	研修会	ノンテラカルスキルを履く	診療技術部	あり
院内災害対応訓練事前勉強会・机上訓練	2019/7/24	研修会	災害時の初動について、多数傷病者受入時の流れ、手続きの理解	8/31訓練に参加する教職員	不明
「学園マスタランの実質化に向けた職員研修」報告会	2019/7/30	研修会	「管理会計」について	拡大課長の各部署	なし(アンケートあり)
ビブレスキューかながわ訓練事前勉強会	2019/8/20	勉強会	災害時の初動について、今回の訓練目的について	8/30訓練に参加する教職員、DMAT小委員会委員	不明
院内災害対応訓練	2019/8/30	訓練	地震発生時の初期対応、災害対策本部の設置・運営	教職員(主に病院執行部)	あり
院内災害対応訓練(ビブレスキューかながわ)	2019/8/31	訓練	多数傷病者受入、DMAT活動拠点本部の設置・運営	主に災害対策マニュアルに役割が付けられている教職員、無作為選出の事務・技術部署	あり
過重労働解消のための管理者研修	2019/12/11	研修会	2019年度からの働き方改革に伴う改定内容の理解について	伊勢原校舎・付属病院各部署所屬長	あり
キャリアアップ研修	2019/12/4、2019/12/11	研修会	実践！メンタルトレーニングでストレスに強くなる	事務職員が在籍する部署から事務部長指名	あり

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	八木 憲司 (病院事務部長)、小川 吉明 (情報システム部長)
管理担当者氏名	深澤 光也 (伊勢原総務課長)、佐藤 梢 (診療情報管理課長)

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	伊勢原総務課	紙保管 (3年間) 及びデータベース管理
		各科診療日誌	伊勢原総務課	紙保管 (3年間)
		処方せん	薬剤部	紙保管及びデータベース管理
		手術記録	診療情報管理課 システム課サーバ室	現物は診療情報管理課、 電子情報はシステム課サーバ室管理
		看護記録	診療情報管理課 システム課サーバ室	現物の手術記録、看護記録、 検査所見記録、エックス線写真 (画像データ)、 紹介状、退院時要約、入院診療計画書の管理 については、別紙参照
		検査所見記録	診療情報管理課 システム課サーバ室	
		エックス線写真	診療情報管理課 システム課サーバ室	
		紹介状	診療情報管理課 システム課サーバ室	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	伊勢原人事課	データベース管理
		高度の医療の提供の実績	医事課、臨床研修部、 伊勢原総務課	紙保管及びデータベース管理
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	大学運営本部大学IR室 伊勢原研究支援課	電子データ
		高度の医療の研修の実績	臨床研修部、看護部、診療技術部	紙保管及びデータベース管理
		閲覧実績	伊勢原総務課、診療情報管理課	紙保管媒体及びデータベース管理
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	伊勢原総務課 薬剤部	紙保管 (3年間) 及びデータベース管理
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全対策課	紙保管及びデータベース管理
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全対策課	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全対策課	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全対策課	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	院内感染対策室	紙保管及びデータベース管理
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医薬品安全管理室	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 医薬品安全管理室	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療機器安全管理室	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室 医療機器整備室 当該部署	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室 当該部署			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理室 医療機器整備室			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全対策課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	院内感染対策室
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医薬品安全管理室
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	診療情報管理課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全対策課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療監査部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医薬品安全管理室
		監査委員会の設置状況	医療監査部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全対策課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全対策課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全調査課 総合相談室
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全対策課
		職員研修の実施状況	医療安全対策課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療監査部
		管理者が有する権限に関する状況	経営企画室
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	経営企画室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	経営企画室		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

診療に関する諸記録 (現物)

(手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係わる入院期間の診療経過の要約及び入院診療計画書)

1. 診療記録 (エックス線写真含む) の保管期間 (電子化以前分)

- (1) 外来カルテ : 診療の完結の日から5年間とする。
- (2) 入院カルテ : 診療の完結の日から5年間とする。

※ただし、次に該当する記録は長期保管対象とする。

- ① 治験症例
- ② 特定生物由来製品使用症例
- ③ 損害賠償請求に関わる症例
- ④ 特定不妊治療費助成事業に関わる症例
- ⑤ 臓器等移植症例
- ⑥ 先天異常症例
- ⑦ B型・C型肝炎症例
- ⑧ 照射録
- ⑨ 産科記録
- ⑩ その他病院長が認めた症例

- (3) X線フィルム : 1のただしに規定する長期保管分のみ

2. 診療記録 (電子化以前分) の保管方法

- (1) 外来カルテ : 全科1フォルダの患者ID番号ターミナルディジット分類保管とする。
- (2) 入院カルテ : 1入退院毎製本し患者IDターミナルディジット分類による分類保管とする。
- (3) X線フィルム : 患者ID番号ターミナルディジット分類による大袋保管とする。

- 3. 上記の診療に関する諸記録は、外来診療、入院診療、医学研究等を目的として、院内で閲覧及び借り出すことはできるが、院外へ持ち出すことはできない。

以上

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状	
閲覧責任者氏名	八木憲司（事務部長），佐藤 梢（診療情報管理課長）	
閲覧担当者氏名	佐藤 梢（診療情報管理課長），深澤光也（伊勢原総務課長）	
閲覧の求めに応じる場所	会議室，診療情報管理課カルテ室，診療録開示室等	
閲覧の手続の概要 病院の管理及び運営に関する諸記録 病院若しくは病院長宛の文書依頼に基づき、病院長が承認した内容について、閲覧場所を定めて個別に対応を行う。閲覧時は、病院職員の立ち会いのもと実施する。 公的監査における診療録の閲覧については、指定を受けた記録について、該当記録・書類を紙出力し、病院職員立会いの下開示する。カルテレビュー形式で閲覧する場合は、情報システム課に依頼し、会議室に電子カルテ閲覧の環境を設置する。病院職員が操作し、指定の記録、あるいは診療内容について開示する。 医療スタッフの閲覧については「診療記録・情報管理規程」に基づき手続きを行う。患者側からの個人情報開示の請求があった場合は、「個人情報開示・訂正等運用細則」に基づき手続きを行う。 医師・患者の閲覧（開示）件数 2, 6 2 2 件 病院機能評価受審 2 0 件（カルテレビュー） 立入検査 4 件		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	件
閲覧者別	医師	延	件
	歯科医師	延	件
	国	延	1 件
	地方公共団体	延	2 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 私たち教職員は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、安全な医療サービスを提供できるよう努める。</p> <p>2. 医療安全管理委員会および当院の組織に関する基本的事項 (1) 医療に係る医療安全管理体制の確保及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理委員会の総括の下に、特定な事項を検討するため、各種の委員会を置き、詳細な運用に関しては別に定める。 また、院内感染対策、医薬品、医療機器、診療記録等、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等、医療放射線の安全管理体制の確保については、院内感染防止対策委員会、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、診療記録等監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会、医療放射線安全管理委員会と連携する。 (2) 医療に係る安全管理を行う部門として、医療監査部（医療安全対策課・医療安全調査課・院内感染対策室・放射線治療品質管理室・医薬品安全管理室・臨床研究監査室・医療機器安全管理室・医療放射線安全管理室）を置く。 (3) 副院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置し、医療監査部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。 (4) 医療安全に係る企画立案・評価・職員の安全管理に関する意識の向上等組織横断的に指導するため専従医療安全管理者（看護師）及び医療安全専従薬剤師を医療安全対策課及び医薬品安全管理室に配置する。</p> <p>3. 職員に対する医療に係る安全管理のための研修に関する基本方針 職員に対する医療に係る安全管理のための研修を「医療安全・感染防止セミナー」と位置づけ全教職員に対して、以下の研修を実施し、研修実施後の学習効果測定を実施する。 なお、新規採用者、異動者、出向終了者、育児休業・産休から復帰した者及び臨床研修医に対する研修は別途実施する。 (1) 医療安全に関する事項 (2) 感染防止対策に関する事項 (3) 医薬品関連に関する事項 (4) 医療機器関連に関する事項 (5) 高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等に関する事項 (6) 診療用放射線に関する事項 (7) 相互立入り、監査委員会からの意見に関する事項 (8) その他重大な事象が発生した事項</p> <p>4. 当院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 (1) インシデント／アクシデント・合併症が発生した場合は、速やかにインシデント情報登録システム（EMI）に必要事項を入力し、医療監査部へレポートを提出する。提出されたレポートが診療録及び看護記録に基づき記載されているかを専従医療安全管理者が検証する。 (2) 医療監査部で検証・分析したアクシデント（レベル3b以上）事例、合併症事例について病院長へ速やかに報告し、医療安全管理委員会にて検討する。</p>	

(3) 重要と思われるレポートについては、レポート・事例検討会で検証し、医療安全管理委員会に諮る。さらに、対策が必要な事象については、RCA（根本原因分析）或いは調査委員会で検証する。

5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針

当該者の健康回復に全力を尽くすことを優先し、可及的速やかに上司に連絡し指導を仰ぎ、必要に応じて院内に緊急情報を発信し処置を行なう十分な人員を確保する。

その後、当該者や家族に説明する際は、言い訳や憶測を避け、事故の事実関係をできるだけわかりやすく、正確に説明する。さらに、重要事象は、原則として24時間以内に事故調査委員会を立ちあげ、事実関係をできるだけ正確かつ時系列に整理する。

6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針

(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む)

医療安全対策マニュアルは、当院のホームページ及び病院情報システム端末に掲載し、いつでも情報が取得できる環境を構築し公開する。

また、患者からの医療の安全管理及び安全対策等についての質問等があれば積極的に情報を開示する。

7. 患者からの相談への対応に関する基本方針

患者・家族からの相談に適切に応じる体制を確保するために、総合相談室に相談窓口を設置し、安全管理体制の確保について、関係部署に改善等の指導をする。

8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針

(1) 各部署にリスクマネージャーを配置し、医療安全管理委員会で決定した医療安全に係る事項を所属員へ周知させる。

また、安全情報としてセイフティ・トピックスの発行並びに各種ガイドラインの策定を行い教職員に周知する。

(2) 病院の医療安全管理業務が病院長の下で、適切に実施されているか等について、東海大学医学部附属病院医療安全管理業務監査委員会による監査を受ける。

(3) 高難門を医療監査部内に置き、その適否については、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会の要綱に基づき審査し、病院長が決定する。高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合には、関係学会から示される「高難度新規医療技術の導入を検討するに当たっての基本的な考え方」やガイドライン等を参考に実施する。

(4) 他の特定機能病院の管理者との連携による相互立入りを実施し、技術的助言等を受ける。

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

・ 設置の有無 (有 無)

・ 開催状況：年 12 回

・ 活動の主な内容：

1. 委員構成 (委員：34名、事務局：3名、オブザーバー：1名)

医療監査部長 (委員長)、医療安全専従医師、専従医療安全管理者、医療監査部次長、院内感染対策室、専任院内感染対策責任者、放射線治療品質管理室、医薬品安全管理室、医薬品安全管理責任者、医療安全専従薬剤師、臨床研究監査室、医療機器安全管理室 (医療安全専任技師)、医療機器安全管理責任者、医師 (内科学系・外科学系・専門診療学系)、臨床研修部、診療技術部、薬剤部、看護部、褥瘡対策委員会委員長、事務 (伊勢原総務課、伊勢原用度管理課、医療安全調査課、医事課、診療情報管理課)

2. 医療安全管理委員会の開催状況

実施：平成31年4月8日、令和元年5月13日、令和元年6月10日、令和元年7月8日、
令和元年8月13日、令和元年9月9日、令和元年10月15日、令和元年11月11日、
令和元年12月9日、令和2年1月14日、令和2年2月10日、令和2年3月9日

3. 主な内容

- (1) 提出されたインシデント／アクシデントレポートの検討
- (2) 医療に係る医療安全の諸規程の整備
- (3) 重大な問題が発生した事象に対する事故調査委員会の設置
- (4) 重要な対策が必要な事象に対する「RCA（根本原因分析）検討会」の実施
- (5) 医療安全・感染防止セミナーの企画、実施及びセイフティ・トピックスの発行
- (6) 職員研修実施後の学習効果測定の実施
- (7) 医療安全対策チーム設置の検討
- (8) 東海大学医学部付属病院群への医療安全に関する周知事項の審議
- (9) リスクマネージャー会で検討する事項の審議及びリスクマネージャー会の実施
- (10) 医療安全対策マニュアル及び医療安全基本マニュアル（携帯版）の策定
- (11) 医療安全月間の企画
- (12) 院内感染防止対策委員会、医薬品安全管理委員会、医療機器安全管理委員会、診療記録等監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会、未承認新規医薬品等評価委員会等で策定される、院内感染対策、医薬品、医療機器、診療記録等、高難度新規医療技術、未承認新規医薬品等の安全管理体制について連携する。
- (13) 厚生労働省への提出事象の分類
- (14) 厚生労働省への医療機器に関する提言事象の抽出
- (15) 前各号に掲げたもののほか委員長が必要と認めた事項

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 10 回

・ 研修

医療安全・感染防止セミナー：全10回

（DVD視聴による医療安全・感染防止セミナー：全43回）

・ 研修の内容（すべて）：

1. 第1回医療安全・感染防止セミナー（医療安全の日セミナー）：平成31年4月9日
「人の思考特性と医療の安全を高めるノンテクニカルスキル」
「感染対策における保健所との連携」
2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：令和元年5月7日
「疑似症における保健所への届出について」
「心電図モニターの管理方法について」
「法令に基づく診療情報管理」
3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：令和元年6月6日
「食中毒から身を守ろう ～食中毒の原因と予防について～」
「2018年度インシデント／アクシデントのまとめ」

4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：令和元年7月5日
「医療用麻薬の管理」
「医療の質向上に向けたASTの取り組み」
「低酸素だけが危険なのではない」
「酸素療法の安全管理」
5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：令和元年9月6日
「病院機能評価準備に向けた注意点」
「医療用ガスの安全な使用について」
6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：令和元年10月2日
「結核とは」
「患者の権利・医療者の義務とその限界」
7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：令和元年11月7日
「特定機能病院承認要件の周知」
「インフルエンザを迎え撃つ」
8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：令和2年1月8日
「抗菌薬の傾向（経口）と対策」
「褥瘡ケア：大事なんです！「体圧管理」！」
「インスリン療法による入院糖尿病患者の血糖管理について」
9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：令和2年2月4日
「8階フロアにおける手指衛生推進活動について」
「悪質クレマーへの対応」
「医療法施行規則の一部改正と診療用放射線の安全利用」
「より安全な鎮静を目指して」
10. 第10回医療安全・感染防止セミナー：令和2年3月5日
「感染対策 ～最近のトピックス～」
「個人情報の取り扱いについて」
「検査や手術前に休薬すべき抗血栓薬と入院患者の抗血栓薬再開忘れ防止の院内ルール」
「2019年度医療安全対策のまとめ」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 各年度のレポート報告提出枚数

1) 平成29年度：5,785枚 2) 平成30年度：5,663枚 3) 令和元年度：5,575枚

2. 発生した事故等の医療安全管理委員会への報告

インシデント／アクシデント・合併症レポートは専従医療安全管理者がレポート取り扱い基準に従ってレポート内容の確認を行い、月別アクシデント・合併症レポート一覧表を作成している。医療監査部で一覧表事例の分析及び検証を行い、結果について医療安全管理委員会へ報告を行っている。また、アクシデント（レベル3 b以上）・合併症事例、重大事象につながりそうな事例は病院長へ速やかに報告し、対応を検討、特に重要な事象はレポート・事例検討会に諮り、レポート・事例検討会で検討された対策案等を医療安全管理委員会へ具申している。

3. 事故等の収集・分析による組織としての改善策の企画立案及びその実施状況の評価と情報の共有

- (1) 月別にインシデント／アクシデントレポートを各事象（CV関連、気道関連、ドレーン関連、化学療法関連、医療機器関連、転倒・転落関連、医薬品関連）ごとに統計・解析し、医療安全管理委員会で審議し病院運営会議に諮り、各種会議体（診療科長会、診療協議会、RM会）、セミナー等で注意を喚起している。
- (2) レポート・事例検討会で提案された対策案等を医療安全管理委員会で審議し、さらに検討・対策が必要な事象は、根本原因分析（RCA）、各分野の医療安全対策チーム（気道安全管理、CVC、ドレーン・チューブ類、転倒転落、肺血栓塞栓症、抗凝固剤、予期せぬ急変、救急カート運用、身体抑制・自己抜去防止、患者誤認防止）で対策案等を検討している。
- (3) 上記で検討された対策案等は、各種会議体（病院運営会議、診療科長会、診療協議会、RM会）、セミナー、セイフティ・トピックス等で周知している。

4. 重大医療事故発生時の病院管理者への報告及び再発防止策（背景要因・根本原因分析）

- (1) 重大な医療事故が発生した場合は、手順に従い、速やかに病院長に報告する。また、インシデント／アクシデントレポートとは別に、時系列の報告書（事例報告書）を24時間以内に提出させ、病院長へ報告している。
- (2) 事象に応じて、根本原因分析（RCA）、事故調査委員会、事故検証委員会、事故外部評価委員会を立ち上げ、再発防止策を講ずる。

5. 診療記録等監査

診療記録等の記載から医療過程においてどのような影響があったか、診療記録等監査委員会で検証している。診療記録等監査委員会の統括の下に、インフォームド・コンセント記載状況確認分科会、診療記録等記載状況確認分科会を置き、活動報告を受け、適切なインフォームド・コンセント及び診療記録等の記載実施について協議し、必要に応じて医療安全管理委員会へ報告を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策のための指針 2007年7月1日策定、2009年8月31日改訂、2014年5月20日改訂、2018年4月17日改訂</p> <p>以下の7項目は、平成19年4月1日付で公布された医療法施行規則改正に基づいている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会その他の組織に関する基本事項 院内感染防止対策委員会、院内感染対策チーム（ICT）・抗菌薬適正使用支援チーム、 院内感染対策チーム（ICT）ラウンド、リンクナース・リンクドクター 3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6. 患者に対する頭蓋視診の閲覧に関する基本方針 7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のための必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員の構成（委員：23名） 病院長、医療監査部長、看護部長、薬剤部長、事務部長、臨床検査科長、院内感染対策室長、 中央手術室・中央滅菌材料室長、栄養支援センター長、感染症対策に関し相当の経験を有する医 師、ほか委員長が必要と認めた関係者 2. 主な内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症の地域流行などの感染症情報の把握と提供に関する事。 (2) 院内感染発生の監視・疫学調査および情報の提供に関する事。（細菌培養・薬剤感受性 などの情報） (3) 感染症発生の届出に関する業務およびその情報の保管に関する事。 (4) 病院環境汚染の把握、医薬品や医療機器汚染の監視・指導に関する事。 (5) 抗菌薬・消毒薬の使用状況の把握・適正使用の指導に関する事。 (6) 院内の感染対策や感染制御の立案・実行・評価に関する事。（院内感染防止対策マニ ュアル） 	

- (7) 感染対策全般に関するコンサルテーションや指導・教育に関すること。
- (8) 院内感染防止対策に係る経費算定・管理に関すること。
- (9) その他、病院長の指示する業務、あるいは委員会決定事項の遂行に関すること。

3. 院内感染防止対策委員会開催状況 (2019年度)

2019年4月16日、2019年5月21日、2019年6月4日、2019年7月16日、2019年8月20日、
2019年9月17日、2019年10月15日、2019年11月19日、2019年12月17日、2020年1月21日、
2020年2月18日、2020年3月17日

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況

年 94回

・ 研修の内容 (すべて) :

【医療安全・感染防止セミナー：全10回】

(DVD視聴による医療安全・感染防止セミナー：全43回)

・ 受講内容

1. 第1回医療安全・感染防止セミナー：平成31年4月9日
「感染対策における保健所との連携」
2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：令和元年5月7日
「疑似症における保健所への届出について」
3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：令和元年6月6日
「食中毒から身を守ろう ～食中毒の原因と予防について～」
4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：令和元年7月5日
「医療の質向上に向けた抗菌薬適正使用支援活動」
5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：令和元年9月6日
「病院機能評価に向けた注意点」
6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：令和元年10月2日
「結核とは」
7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：令和元年11月7日
「インフルエンザを迎え撃つ」
8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：令和2年1月8日
「抗菌薬の傾向（経口）と対策」
9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：令和2年2月4日
「8階フロアにおける手指衛生推進活動について」
10. 第10回医療安全・感染防止セミナー：令和2年3月5日
「感染対策～最近のトピックス～」

【職業別教育実績：全41回】

- ・ 新人オリエンテーション・研修医対象クルズス・清掃業者対象セミナー
- ・ 看護師中途採用者オリエンテーション・看護助手レクチャー
- ・ 各部署対象感染対策レクチャーなど

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

1. 病院における発生状況の報告等の整備

- (1) 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確認し、院内感染を未然に防ぐ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。
- (2) 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・看護単位責任者から感染症患者発生報告書にて、院内感染対策室を経由して病院長に提出される。
- (3) 「感染症法」に規定される届出は最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。

2. その他の改善のための方策の主な内容

耐性菌発生時の病棟別、診療科別動向調査を行い、薬剤使用状況との解析による各部署へのフィードバック、さらに担当医に対するコンサルテーションや病棟や病棟ラウンドによる感染防止対策。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 42回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 全職員に対する講義、医療安全・感染防止セミナー 「医療用麻薬の管理 レスキュー薬の運用」 2019年7月5日 「インスリン療法による入院糖尿病患者の血糖管理について」 2020年1月8日</p> <p>(2) 全職員向けE-Learning 「医療安全研修に係る基礎知識」 年2回実施</p> <p>(3) リスクマネージャーに対する講義、リスクマネージャー会 「医薬品の安全管理」～医薬品安全使用のための業務手順書の改訂～ 2019年9月27日</p> <p>(4) 医師に対する講義 全臨床助手・臨床研修医（麻薬・向精神薬・筋弛緩剤（毒薬）の取り扱いと薬剤部門の業務） 2019年4月1日 麻酔科研修医（中央手術室における重点管理薬品の管理について） 2019年4月6日、6月1日、8月17日、10月5日、12月7日、2020年2月1日 救命救急科研修医（救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理） 毎月1回（月初め）</p> <p>(5) 新人看護師に対する講義 看護部新人研修（医薬品の安全管理） 2019年4月20日 10B病棟（病棟薬剤業務について） 2019年4月11日 NICU・GCU病棟（クリーンベンチの使用について） 2019年10月24日</p> <p>(6) 新規採用者《医師以外》に対する講義 医薬品の安全管理について 2019年4月2日</p> <p>(7) 診療技術部に対する講義（透析患者の薬剤管理について） 2020年1月16日</p> <p>(8) 看護師に対する講義 6A病棟（麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について） 2019年6月21日 （婦人科がんに対するがん化学療法について） 2019年7月25日 （妊婦授乳婦の薬物治療について） 2019年8月19日 6B病棟（麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について） 2019年6月27日 （α-グルコシダーゼ阻害薬について） 2019年12月10日、12月24日 （カリウム注射製剤について） 2020年2月26日 7B病棟（麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について） 2019年4月15日 9A病棟（麻薬の管理方法について） 2019年10月24日 14A病棟（ポマリスト 患者指導・運用について） 2019年9月7日</p> <p>(9) その他職員に対する講義 救命救急士 救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について 2019年7月22日、2019年7月31日 診療技術科・看護師（抗血栓薬の種類・止血の仕組み） 2019年11月20日</p>	

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

- ・ 手順書の作成 (有 無)
- ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
 - ・ 病棟・外来に定数保管されている医薬品の保管状況及び品質管理（年3回）
 - ・ 医薬品情報の収集・管理・周知
周知した医薬品情報について医薬品安全管理委員会（月1回開催）に報告し周知状況を確認
 - ・ 未承認・適応外・禁忌等に該当する処方に関する情報
使用状況について医薬品安全管理委員会（月1回開催）に報告
 - ・ 医薬品安全使用のための業務手順書の遵守状況の確認
手順書の遵守状況について病棟専任薬剤師によるチェックシートを用いた確認
医薬品安全管理室による医薬品安全ラウンドの実施

④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有 無)
- ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
【未承認新規医薬品】
なし

【適応外使用】

ゾメタ（ゾレドロン酸）点滴静注：非感染性下顎骨骨髓炎の症状改善
クレキサソ皮下注キット：再発性深部静脈血栓症（治療目的）
ヒストアクリル（医療材料）：血管塞栓に用いる（血管塞栓術に用いるNBCAのガイドライン）
デスマプレシン注：クッシング病の診断 DDAVP試験に用いる
カレトラ配合錠：COVID-19感染症 など
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - ・ 薬剤師は内服・注射調剤、病棟業務等において未承認・適応外・禁忌医薬品の使用を把握した場合は、院内の情報端末にデータを登録する
 - ・ 医薬品安全管理室は未承認・適応外・禁忌医薬品の使用状況を把握・管理し、医薬品安全管理委員会（月1回）へ報告する
 - ・ 未承認新規医薬品等の提供について管理部門の業務手順書に、適応外使用について審査対象とするか「適応外使用を行う医薬品のリスク分類表」を制定し、申請の振り分けを行う。
 - ・ 高濃度カリウム注射製剤の使用について、「カリウム注射用製剤安全使用のための院内ルール」を作成し、適応外使用として審査を行い病院ルールとした。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 237回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 第4回 医療安全・感染防止セミナー：2019年7月5日 582名 「酸素療法の安全管理」 ・ 医療機器の取扱い研修（病棟・各部門等） 人工呼吸器，除細動器，PCPS，IABP，閉鎖式保育器，血液浄化装置，CTエックス線装置 診療用高エネルギー放射線発生装置、診療用放射線照射装置，磁気共鳴画像診断装置 血液照射装置，その他 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①人工心肺装置及び補助循環装置：年1回実施 ②人工呼吸器：年1回～2回実施 ③血液浄化装置：年2回実施 ④除細動装置：年1回実施 ⑤閉鎖式保育器：年1回実施 ⑥CTエックス線装置（医用X線CT装置）：年2回実施 ⑦診療用高エネルギー放射線発生装置：年4回実施 ⑧診療用放射線照射装置：年4回実施 ⑨磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）：年2回実施 <p>点検内容：動作確認、精度確認、摩耗・損耗確認、安全機構確認</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：無 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ①医療機器使用時における禁忌情報を「医療安全基本マニュアル（携帯版）」に掲載。 ②医療機器の安全管理を推進するために，毎月1～2病棟において医療機器に関するラウンドを行い，機器の管理や使用方法の確認，医療機器に関する情報提供（モニターアラーム解析）や医療機器に関する相談などを行う。 ③医療機器に関するインシデント・アクシデント事例の調査及び改善。 ④医療機器安全管理委員会にて，医療機器全般の不具合，安全使用，管理方法等について検討を行っている。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格(医師・歯科医師)</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療監査部を設置し、医療安全担当副院長／医療監査部長が医療安全管理責任者として配置。医療安全管理委員会は、医療監査部長が委員長を務め、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者は委員となり、委員会にて活動報告を求めている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(5名)・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品に関する情報の収集・整理・周知に関する業務は薬剤部薬剤科DI係が行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品の添付文書の情報のほか、医薬品製造業者、行政機関(PMDA等)、学術誌等から情報を広く収集し整理する ・院内で発生した医薬品に係わる副作用情報を積極的に収集し、評価するとともに一元的に管理する ・医薬品に関する情報の周知は薬剤部薬剤科DI係より、各部門、各職種へ病院情報システム、紙媒体などを通じて迅速に提供・周知を行う ・医薬品安全性情報等のうち、迅速な対応が必要となるものを把握した際は、当該医薬品を処方した医師及び投与された患者を速やかに特定し、必要な措置を迅速に講じる ・薬剤部薬剤科DI係より発信された情報は院内ポータル掲示板にて常時閲覧可能とする ・病棟専任薬剤師と薬剤部薬剤科DI係の薬剤師が必要に応じカンファレンス等を行い、病棟専任薬剤師が病棟薬剤業務を実施するにつき必要な情報を提供する ・医薬品安全管理責任者は、医薬品安全管理委員会(月1回開催)に薬剤部薬剤科DI係より報告された医薬品情報および副作用情報の周知状況の確認を行う <p>(前年度件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 薬事委員会採用情報 11回 薬事委員会試用情報 9回 薬事委員会採用中止情報 12回 「効能効果」「用法用量」の追加・変更情報 10回 医薬品・医療機器等安全性情報 11回 医療安全情報 22回 医薬品回収・品薄情報 61回 DIニュース 32回 副作用関連情報(院内副作用報告一覧) 14回 薬発等 16回 その他(販売中止、包装変更、オーダ停止、オーダ開始など) 28回 	

- ・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況
 - ・薬剤師は調剤時、病棟薬剤業務等で未承認・適応外・禁忌等に該当する処方把握した場合は院内の情報端末にデータ登録する。担当者は添付文書、ガイドライン、文献等から、有効性、安全性に関する情報を収集し、医薬品安全管理委員会に報告し、必要に応じ適応外使用申請を依頼する。
 - ・管理部門は未承認新規医薬品等（適応外使用も含む）の使用について、適応外使用医薬品については「適応外使用を行う医薬品のリスク分類表」より振り分けを行い、必要に応じ適応外使用申請を依頼する。
 - ・医薬品安全管理責任者は、未承認等の医薬品に関しその使用状況の周知を行う。

・担当者の指名の有無 (有) 無

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部薬剤科 医療監査部医薬品安全管理室付，職種 薬剤師)

(所属：薬剤部薬剤科 医療監査部医薬品安全管理室付，職種 薬剤師)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

(有) 無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) 無
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：

IC記載状況確認分科会を定期的で開催し、テーマを決めて検証を行っている。検証結果で改善すべき点が見受けられた診療科については、改善指摘文書を発行し、回答書の提出を求めている。

IC用紙の記載不備の点検結果を科別に集計し、診療科長会にて周知・指導を行っている他、今期は次の点について「診療記録等監査委員会」に報告し、周知・指導を行っている。

- ①インフォームド・コンセント運用管理規程・細則マニュアル改訂（「インフォームド・コンセントの指針」を中心とし、管理・運用体制を体系化できるよう管理の分解点を明確化）
- ②定型フォーマット化されている説明・同意書の改訂
 - ・ステロイド療法（合併症の項目に病名を追加）
- ③診療科長会にて周知
 - ・説明・同意書医師署名欄の自署徹底（スタンプ廃止）について、文書を配布し促進した。
 - ・緊急処置、手術時の包括的IC用紙の作成について、全診療科に周知した。
 - ・定型的な手術IC用紙の作成推進について、全診療科に周知した。
- ④救命救急科における緊急手術のIC取得およびチェック体制の確立
- ⑤電子カルテの閲覧性を向上させるため、診療録（経過記録）のタイトル（インフォームド・コンセント）を追加した。
- ⑥医師以外のスタッフの代諾について、インフォームド・コンセントの運用フローを作成した。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

(有) 無

- ・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：
 1. 診療録等の記載状況を日々確認（質的点検）し、記載不備の記録については、その都度記載医に訂正を求めている。

2. 診療記録等記載状況確認分科会を定期的に開催し、テーマを決めて検証を行っている。
3. 今期は「前年度指摘事項振り返り」「死亡症例」「インシデントレポート症例」「クリニカルパス症例」をテーマとして横断的監査を行い、以下の内容について指摘し、改善・周知を求めた。
- ①診療記録の記載方法について、当院の規程に基づき記載するよう依頼。
 - ②直接死因について、診療録に記載するよう依頼。
 - ③インシデント・アクシデント症例について、カルテ開示等の可能性にも配慮し、第3者評価に耐えうる記録となるよう、記載の指導を依頼。
 - ④クリニカルパスを中止した際は、アウトカムの評価を行うとともに、中止となった理由を診療録に記載するよう依頼。
4. 検証結果については診療記録等監査委員会に報告し、全科に共通する事項については、医療安全セミナー、診療協議会、診療科長会等において周知・指導を行った。
5. 診療記録等監査委員会より、画像レポート偶発症例の検証依頼があり、診療録を確認し、発生件数等の報告および診療科長・リスクマネージャーへ通知文配布を行った。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有・無

- ・所属職員：専従（9）名、専任（3）名、兼任（7）名
 - うち医師：専従（1）名、専任（2）名、兼任（6）名
 - うち薬剤師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（0）名
 - うち看護師：専従（3）名、専任（0）名、兼任（0）名
- （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

- (1) 医療安全管理委員会の運営に関すること
 - ①医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成と保存
 - ②その他医療安全管理委員会の庶務に関すること
- (2) 医療事故発生時の対応に関すること
 - ①事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導を行う
 - ②患者及び家族への説明など事故発生時の対応状況について確認及び必要な指導を行う
 - ③事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認及び必要な指導を行う
- (3) 安全管理のための職員に対する教育、研修の企画・運営に関すること
- (4) 医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関すること
 - ①インシデント及びアクシデント発生時における情報の収集と分析
 - ②事故予防策、再発予防策の立案・評価及び見直し
- (5) 医療安全に係る連絡調整に関すること
- (6) その他医療安全対策の推進に関すること
- (7) 医療安全に関する官公庁への届出及び報告に関すること
- (8) 診療記録等の監査に関すること

※診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例

- ・予定手術開始前1時間以内の予防的抗生剤投与割合
- ・再手術率（48時間以内、術後30日以内）
- ・医原性気胸の発生率
- ・術後合併症発生率

- ・退院後緊急入院率（2週間・6週間・30日以内）
- ・死亡退院患者率

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
 - ・診療科の長から申請のあった申請内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会へ当該高難度新規医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求める。
 - ・評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該高難度新規医療技術の提供の適否等について決定し、申請のあった診療科の長に対しその結果を通知する。
 - ・導入後、5症例程度の手術記録、診療録などの記載内容を当該科の長より報告を求める。
 - ・当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的及び術後に患者が死亡した場合、その他必要な場合には、診療録等の記載内容を確認する。
 - ・当該高難度新規医療技術が適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。
 - ・医療安全管理委員会と連携する
 - ・評価委員会に係る事務
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療（適応外使用も含む）の申請件数（12件）、及び許可件数（11件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
 - ・未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の適否を決定する部門を、医薬品は医薬品安全管理室、医療機器は医療機器安全管理室とし、未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関する業務を処理する。
 - ・診療科の長は、当該診療科において未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合には、あらかじめ、医薬品安全管理室または医療機器安全管理室に当該未承認新規医薬品等を用いた医療の提供の申請を行う。

- ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、診療科の長から申請のあった申請内容を確認するとともに、未承認新規医薬品等評価委員会に対して、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求める。
 - ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、評価委員会が述べた意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の提供の適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対しその結果を通知する。
 - ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて使用されていたかどうかに関し、定期的に診療録等の記載内容を確認する。
 - ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は未承認新規医薬品等が適正な手続きに基づいて使用されていたかどうか、従業者の遵守状況の確認を行う。
 - ・医薬品安全管理室または医療機器安全管理室は、未承認新規医薬品等の使用の適否等についての結果、及び未承認新規医薬品等規程に定める事項の従業者の遵守状況を病院長に報告する。
 - ・医療安全管理委員会と連携する。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有 ・ 無)
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有 ・ 無)

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 7 2 2 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 1 3 6 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
 - ① 診療科からの報告状況の確認及び確認結果の管理者への報告
 - ② 提出率を示し、報告状況が不十分な場合は、当該科の長を指導

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り (有 (病院名：産業医科大学病院) ・ 無)
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ (有 (病院名：産業医科大学病院) ・ 無)
- ・技術的助言の実施状況

【私立医科大学病院医療安全相互ラウンド (訪問)】 令和元年 10 月 24 日

【私立医科大学病院医療安全相互ラウンド (受入)】 令和元年 11 月 25 日

 1. 事例の詳細を把握し、緊急的な対策を含め報告する方向で、登録を行っている。可能な限り早期に登録できるようにしている。
 2. 専従医療安全管理者の業務負担軽減として、看護師 1 名が専従で増員された。
 3. 病棟定数薬品の配置品目数量について、病棟ごとの特殊性使用頻度から見直しを行い、病棟における医薬品管理業務の軽減を行っている。
 4. ビグアナイド系糖尿病薬等の術前・検査前に休薬が必要な服用中の薬剤について、現システム上でのアラート機能は無く、確認方法、チェック体制について検討している。次期システムリプレイスでのアラート機能の導入を要望している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

(患者相談窓口の設置状況)

- ・設置年月日：昭和54年4月1日
- ・窓口の名称：総合相談室
- ・相談に応じる時間帯：月曜日～金曜日；9:00～15:00、土曜日(第2、第4を除く)9:00～12:00
- ・責任者職種：患者支援センター所長／医師
- ・対応職員：患者支援センター総合相談室 社会福祉士

(窓口の活動に関する患者への明示)

- ・明示している場所：各科外来、東海ホール・けやき口掲示板、各病棟
- ・明示内容：活動の趣旨、設置場所、担当者・責任者、対応時間

(窓口の活動に関する規約の整備状況)

- ・規約の整備(平成15年4月1日)

(相談により患者や家族が不利益を受けないような適切な配慮)

具体的な配慮の状況

- * プライバシーの保護、匿名での相談及びご意見箱の設置(無記名での投書を可能としている)

(窓口以外の苦情相談の受付方法)

- ・電話、投書箱、インターネット相談の実施
- * 電話相談：総合相談室、当該部署で受けた内容を記録用紙あるいは任意の用紙に記載している

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・研修実施後の学習効果測定として e-learning を年2回実施
- ・医療安全の日セミナー／RM会

<内容>

平成31年4月9日 「人の思考特性と医療の安全を高めるノンテクニカルスキル」

令和元年9月27日 「2019年度医療安全に関する周知内容」

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：令和元年度 特定機能病院管理者研修[継続](令和2年2月12日)

医療安全管理責任者：令和元年度 特定機能病院管理者研修[継続](令和2年2月12日)

医薬品安全管理責任者：令和元年度 特定機能病院管理者研修[継続](令和2年2月12日)

医療機器安全管理責任者：令和元年度 特定機能病院管理者研修[継続](令和2年2月12日)

(注) 前年度の実績を記載すること(⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本国の医師免許を有する者 (2) 医学教育，学術研究及び診療に関して高い見識を有する者 (3) 本学の建学の精神に深く共鳴して，その具現を積極的に推進しようとする者 (4) 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有する者 (5) 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有する者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 東海大学医学部附属病院ホームページに掲載 (事由発生時)

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 東海大学医学部附属病院ホームページに掲載 	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
坂部 貢	医学部 学部長	○	「東海大学医学部附属病院病院長候補者の選考規程」の規定に基づき、医学部長は委員長を務める。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
瀧澤 俊也	医学部医学科内科学系 学系長		「東海大学医学部附属病院病院長候補者の選考規程」の規定に基づき、委員に選出。	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
八木 憲司	医学部附属病院 病院事務部長		同上	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
黒石 正幸	神奈川県伊勢原市 保健福祉部 部長		「東海大学医学部附属病院病院長候補者の選考規程」の規定に基づき、学校法人東海大学と利害関係のない外部有識者として委員に選出。	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
関野 高弘	一般社団法人 秦野伊勢原医師会 会長		同上	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有) 無	
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>①付属病院の事業計画の企画・立案に関する事項 ②付属病院（含救命救急センター、健診センター）の管理・運営に関する事項 ③付属病院の予算・決算に関する事項 ④付属病院の人事に関する事項 ⑤その他病院長が審議が必要と判断した事項</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>診療科長会（構成員：医師等；各診療科長）、診療協議会（構成員：医師、看護師、技術職員、事務職員；各病棟・部署所属長）での周知報告により、全体周知を図っている。また、必要に応じて病院本部会議、医学部協議会、医学部教授会等で報告するとともに、文書による周知を行っている。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無（有 (無)）</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無（有 (無)）</p>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
渡辺 雅彦	○	医師	病院長、伊勢原校舎・付属病院副本部長
飯田 政弘		医師	常務理事、伊勢原校舎・付属病院本部長 伊勢原経営企画室長
八木 憲司		事務職員	常務理事、伊勢原校舎・付属病院副本部長、 伊勢原事務部長・病院事務部長
瀧澤 俊也		医師	副学部長（臨床・施設・財務）
小林 広幸		医師	副学部長（研究）、医学研究科長、 治験・臨床研究管理部長
吉岡公一郎		医師	副院長、診療部長
浅野浩一郎		医師	副院長
岩崎 正之		医師	副院長、中央診療部長

大上 研二		医師	副院長、医療監査部長
小川 吉明		医師	副院長、伊勢原情報システム部長
横田 弘子		看護師	副院長、看護部長、 看護師キャリア支援センター所長
中川 儀英		医師	診療協力部長
鈴木 秀和		医師	臨床研修部長
安藤 潔		医師	オンコロジーセンター所長
石本 人士		医師	総合周産期母子医療センター所長
山本 賢司		医師	患者支援センター所長
守田 誠司		医師	高度救命救急センター所長
川又 郁夫		診療放射線技師	診療技術部長
市川 訓		薬剤師	薬剤部長
萩野 智尉		事務職員	医事課長
深澤 光也		事務職員	伊勢原総務課長
石原 潔		事務職員	伊勢原経営企画室課長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・**無**）
- 公表の方法
- 規程の主な内容

病院長について以下のとおり規定している。

- ① 病院に病院長を置く
- ② 病院長は、医療法第10条の規程に則ったものであるとともに、人格が高潔で学識に優れ、かつ、病院の管理・運営に関し識見を有する者とする。
- ③ 病院長は、病院管理者として病院の業務を統括する。
- ④ 病院長は、病院で行われる診療、教育及び研究について、その実施を許可し、実施状況について報告を求め、必要に応じて是正又は停止を命ずることができる。
- ⑤ 病院長の選任及び任期については、「東海大学医学部附属4病院における病院長及び副院長の選任規程」の定めるところによる。

- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副院長（担当業務：診療・渉外）

副院長（担当業務：診療協力）

副院長（担当業務：中央診療）

副院長（担当業務：医療安全）

副院長（担当業務：情報システム）

副院長（担当業務：看護）

病院事務部長（担当業務：事務全般）

- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

附属病院群執行部研修会

〔開催時期〕 毎年5月

〔研修内容〕 本院及び医学部附属東京病院、同大磯病院、同八王子病院の各病院長から前年度決算の分析と評価、当年度事業計画に沿った取組み（医療収入獲得の取組み・徹底した経費削減対策）、医療安全対策について説明を行う。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有・無 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 1回</p> <p>・ 活動の主な内容： 医療安全管理業務（以下の(1)～(6)）の実施状況について管理者から報告等を求め、その適切性を判断する。また、必要に応じて、是正措置を講じるよう、理事長及び管理者に対し、書面により意見を表明する。</p> <p>(1) 医療安全管理責任者の業務 (2) 医療安全管理部門の業務 (3) 医療安全管理委員会の業務 (4) 医薬品安全管理責任者の業務 (5) 医療機器安全管理責任者の業務 (6) その他医療安全管理業務に係る事項</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無） ・ 委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無） ・ 委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無） ・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無） ・ 公表の方法：当院ホームページに委員名簿、委員の選定理由を掲載。 議事録は監査委員会終了後に掲載。</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
三木 保	東京医科大学 病院長 東京医科大学 医療の質・安全 管理学分野主 任教授	○	特定機能病院の管理者として広い識見その他の学識経験を有し、特定機能病院医療安全管理責任者を経験し医療安全管理に長けている者。さらに、医療安全や質の向上を目的に医療安全文化の構築を推進する者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療に係る安全管理に関する識見を有する者
大塚 達生	弁護士 (神奈川県弁護士会)		患者さん側の立場に立った弁護をされている者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	法律に関する識見を有する者
山口 育子	認定NPO法人さ さえあい医療 人権センター COML 理事長		患者と医療者の協働の実現により医療現場により良いコミュニケーションを築く活動をされている者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
黒石 正幸	伊勢原市保健 福祉部長		行政としての立場及び一般の立場の代表者	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者

安田 聖栄	医療法人社団 あんしん会四 谷メディカル キューブ理事 長（医師） （元東海大学 医学部教授，前 東海大学医学 部付属病院副 院長）		東海大学医学部付属病 院の医療安全統括者 を経験し、医療安全管理 に長けている者	○有・無	医療に係る安 全管理に関す る識見を有す る者
千野 修	東海大学医学 部付属東京病 院 副院長・医療安 全対策室長		東海大学医学部付属東 京病院の医療安全統括 者であり、医療安全管 理に長けている者。ま た付属病院群の医療安 全に係る責任者の代表 者	○有・無	医療に係る安 全管理に関す る識見を有す る者

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・ 体制の整備状況及び活動内容

病院長が議長となり、病院の各種事業について審議・報告する「病院運営会議」に、各種の職種を出席させており、相互牽制する体制を敷いている。

・ 専門部署の設置の有無 (有 無)

病院を含む法人全体を担当する、以下の部署を設置している。

業務の監督体制 : 監査室
コンプライアンスに係る体制 : 総務部総務法務課

病院内で担当する部署としては、伊勢原事務部伊勢原総務課が担当する。
(上記の「病院運営会議」の運営を含む)

・ 内部規程の整備の有無 (有 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 無)

・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

- ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況
 病院外を含む法人全体の監督をする会議体として、定例理事会が開催されている。
 理事には外部有識者を含み、メンバーは学校法人東海大学のホームページでも公開している。
- ・ 会議体の実施状況（年5回）
- ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年5回）
 病院長は参画していないが、伊勢原校舎・付属病院本部長(前病院長)が
 常務理事として毎回参画している。
 上記は当該理事の参画状況。
- ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・ 公表の方法

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有 無）
- ・ 通報件数（年2件）
- ・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定め（有 無）
- ・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有 無）
- ・ 周知の方法
- ・ 病院情報端末の医療安全アイコン内に「内部通報」を掲載
 - ・ 医療安全対策マニュアル／医療安全基本マニュアルに医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口及び使用方法について掲載
 - ・ 医療安全・感染防止セミナー、RM会、e-learningで周知
 - ・ 医療安全ラウンドで確認し、理解が不十分な場合はその場で指導を行い、責任者宛にフィードバックしている。

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・評価を行った機関名、評価を受けた時期 公益社団法人 日本医療機能評価機構 主たる機能：一般病院3 機能種別版評価項目3rdG: Ver. 2.0 認定期間：2019年11月22日～2020年10月31日(認定4回目)</p> <p>公益財団法人 日本適合性認定協会 ISO 15189: 2012 (英和対訳版) 認定期間：2020年6月19日～2024年6月30日</p>	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>ホームページにて、病院の概要、理念、基本方針、取り組み、診療機能、診療実績、医師の専門性、各種講座・講演会等の情報発信を行っている。 また、近隣医療機関向けには、「診療案内」、「のぞみ」等の冊子・チラシを配布、患者さん向けには「けんこうさろん(季刊誌)」、「医学小知識(毎月)」を定期発行している。 院内の掲示板には「病院の理念」「基本方針」を明示している。</p>	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>【チーム医療の体制について】 栄養サポートチーム・呼吸ケアチーム・緩和ケアチームなどのチームが定期的に回診を行い、診療科の枠を超え患者のケアにあたっている。</p>	